

プログラム

I 宿題報告

学術講演 1日目 5月28日(水)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(13:00~14:00)

1. 「鼻副鼻腔がん治療の新時代」

司 会：丹生 健一（神戸大学教授）
演 者：本間 明宏（北海道大学教授）

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(13:00~14:00)

2. 「Cochlin-tomoprotein (CTP) が切り拓く難聴、めまい診療の未来」

司 会：八木 聡明（日本医科大学名誉教授）
演 者：池園 哲郎（埼玉医科大学教授）

II 臨床講演

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(14:10~15:10)

1. 「耳鼻咽喉科疾患におけるヒトパピローマウイルス感染の多様性と治療戦略」

司 会：猪原 秀典（大阪大学教授）
演 者：鈴木 幹男（琉球大学教授）

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(10:50~11:50)

2. 「画像が解き明かす内耳疾患の新展開」

司 会：山嵜 達也（東京通信病院病院長）
演 者：曾根三千彦（名古屋大学教授）

III 特別講演

学術講演 1日目 5月28日(水)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(10:50~11:50)

1. 「皮膚免疫疾患の未来を紐解くー基礎研究から臨床への架け橋ー」

司 会：大森 孝一（京都大学教授）
演 者：天谷 雅行（慶應義塾大学皮膚科学教授）

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F [G5+G6]

(10:50~11:50)

2. 「恐竜研究最前線 in 2025—恐竜からのメッセージ」

司 会：村上 信五（名古屋市立大学名誉教授）
演 者：小林 快次（北海道大学総合博物館教授）

IV 会長講演

学術講演 1日目 5月28日(水)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F [G5+G6]

(14:10~14:40)

「好酸球性副鼻腔炎の病態解明と治療はSHINKAしたのか？」

司 会：岡本 美孝（千葉労災病院院長）
演 者：藤枝 重治（福井大学教授）

V シンポジウム

学術講演 1日目 5月28日(水)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F [G5+G6]

(9:00~10:30)

1. 「新時代の幕開け—Digital Transformation が導く耳鼻咽喉科診療の進化」

司 会：塩谷 彰浩（防衛医科大学校病院長）
伊藤 真人（自治医科大学教授）
シンポジスト：沖山 翔（アイリス株式会社代表取締役・最高経営責任者／医師）
藤原 崇志（大原記念倉敷中央医療機構臨床医学研究所部長）
坂下 雅文（福井大学講師）
藤村真太郎（京都大学助教）

学術講演 1日目 5月28日(水)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F [G5+G6]

(14:50~16:20)

2. 「医師働き方改革による医療・教育・研究のSHINKA」

司 会：吉崎 智一（金沢大学教授）
高野 賢一（札幌医科大学教授）
シンポジスト：羽藤 直人（愛媛大学教授）
小島 博己（東京慈恵会医科大学教授）
松浦 一登（国立がん研究センター東病院科長）
加藤 幸宣（福井大学助教）

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F [G5+G6]

(9:10~10:40)

3. 「真価をみせる睡眠医療—耳鼻咽喉科と睡眠診療のアップデート」

司 会：原 浩貴(川崎医科大学教授)

中田 誠一(名鉄病院睡眠障害センター長)

シンポジスト：千葉伸太郎(太田総合病院記念研究所太田睡眠科学センター所長)

岸 哲史(東京大学システムズ薬理学講師)

兵 行義(兵医院理事長・川崎医科大学臨床講師)

井下 綾子(順天堂大学准教授)

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第4会場 3F [G304]

(16:30~17:50)

4. 「HPV ワクチンのジェンダーレス接種に向けて【3学会合同シンポジウム】」

司 会：室野 重之(福島県立医科大学教授)

シンポジスト：川北 大介(日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・名古屋市立大学准教授)

八木 麻未(日本産科婦人科学会・大阪大学産科学婦人科学特任助教)

峯 真人(日本小児科学会・峯小児科院長)

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F [G5+G6]

(9:10~10:40)

5. 「深化しためまい診断と治療」

司 会：堀井 新(新潟大学教授)

堤 剛(東京科学大学教授)

シンポジスト：佐藤 豪(徳島大学准教授)

堀井 新(新潟大学教授)

藤本 千里(東京大学講師)

伏木 宏彰(目白大学耳科学研究所クリニック院長・保健医療学部教授)

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F [G5+G6]

(13:00~14:30)

6. 「フレイル対策と克服」

司 会：近藤 健二(東京大学教授)

田淵 経司(筑波大学教授)

シンポジスト：浦野 友彦(国際医療福祉大学老年病学教授)

和佐野浩一郎(東海大学教授)

北原 紬(奈良県立医科大学教授)

都築 建三(兵庫医科大学教授)

熊井 良彦(長崎大学教授)

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(14:40~16:10)

7. 日本医学会連合 TEAM 事業「いつまでも健康で美味しく食べる」ための、多学会連携による嚥下障害対策の普及活動

司 会：香取 幸夫（東北大学教授）
上羽 瑠美（東京大学摂食嚥下センター准教授）
シンポジスト：杉山庸一郎（佐賀大学教授）
兼岡 麻子（東京大学リハビリテーション部主任・摂食嚥下センター副センター長）
末廣 篤（京都大学特定准教授）
海老原 覚（東北大学リハビリテーション科教授）
下畑 享良（岐阜大学脳神経内科教授）

Ⅵ パネルディスカッション

学術講演 1日目 5月28日(水)

オンデマンドあり

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(16:30~18:00)

1. 「悩める疾患に対する漢方療法一定石と次の一手」

司 会：竹内 万彦（松阪中央総合病院）
北村 嘉章（徳島大学教授）
パネリスト：星野 朝文（ほしの耳鼻咽喉科クリニック院長）
平澤 一浩（戸田中央総合病院部長）
白井 明子（金沢大学）
呉 明美（福井大学）

学術講演 1日目 5月28日(水)

オンデマンドあり

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(9:00~10:30)

2. 「進化した頭頸部癌治療」

司 会：大上 研二（東海大学教授）
古川まどか（神奈川県立がんセンター部長）
パネリスト：福原 隆宏（自治医科大学准教授）
楯谷 一郎（藤田医科大学教授）
折館 伸彦（横浜市立大学教授）
東野 正明（大阪府済生会中津病院部長）

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(9:10~10:40)

3. 「深化した耳鼻咽喉科基礎研究」

司 会：山田武千代(秋田大学教授)

三澤 清(浜松医科大学教授)

パネリスト：務台 英樹(北里大学分子遺伝学講師)

高林 哲司(福井大学准教授)

近藤 悟(金沢大学講師)

中川 拓也(千葉大学健康疾患オミクスセンター特任講師)

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(15:20~16:55)

4. 「感音難聴治療はどこまで進化したのか」

司 会：小森 学(聖マリアンナ医科大学教授)

森田 由香(富山大学教授)

パネリスト：寺岡 正人(愛媛大学講師)

神崎 晶(東京医療センター感覚器センター室長)

吉田 忠雄(名古屋大学准教授)

工 穰(信州大学教授)

戸部 美起(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部課長補佐)

VII International Symposium

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第5会場 4F 「G403」

(15:20~16:30)

1. 「AAOHNS Joint Program: Dementia and ENT Disorders」

Chairman: Seiji Kakehata (Ota General Hospital, Middle Ear Endoscopy Surgery
Center, Japan, Director)

Tetsuya Tono (International University of Health and Welfare, Japan,
Professor)

Speaker: Koichiro Wasano (Tokai University, Japan, Professor)

Justin Golub (Columbia University Vagelos College of Physicians and
Surgeons, USA, Associate Professor)

Jolie Chang (University of California, San Francisco, USA, Professor)

学術講演 2日目 5月29日 (木)
会場 第5会場 4F 「G403」

オンデマンドあり

(16:40~18:00)

2. 「CEORLHNS Joint Program: Treatment for Vocal Fold Scar—Recent Update from Bench to Bedside—」

Chairman : Yoshihiko Kumai (Nagasaki University, Japan, Professor)

Speaker : Emke van den Broek (UMC Utrecht, The Netherlands)

Markus Gugatschka (Medical University Graz, Austria, Professor)

Shigeru Hirano (Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan,
Professor)

学術講演 3日目 5月30日 (金)
会場 第1会場 1F 「G5+G6」

オンデマンドあり

(8:00~9:00)

3. 「Head and Neck International Symposium: Korea-Japan Joint Session」

Chairman : Takahiro Asakage (Institute of Science Tokyo, Japan, Professor)

Nobuhiro Hanai (Aichi Cancer Center, Japan, Director)

Speaker : Man Ki Chung (Sungkyunkwan University, Korea, Professor)

Nayeon Choi (Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University,
Korea, Assistant Professor)

Satoshi Kano (Hokkaido University, Japan, Associate Professor)

学術講演 3日目 5月30日 (金)
会場 第2会場 3F 「G301+G302」

オンデマンドあり

(8:00~9:00)

4. 「Rhinology International Symposium」

Chairman : Mamoru Yoshikawa (Toho University Ohashi Medical Center, Professor)

Speaker : Joseph Han (Old Dominion University, Professor)

Shin-ichi Haruna (Dokkyo Medical University, Professor)

学術講演 3日目 5月30日 (金)
会場 第2会場 3F 「G301+G302」

オンデマンドあり

(9:10~10:40)

5. 「ASPIRE: Exploration of personal medical strategies based on the pathogenetic mechanisms of chronic rhinosinusitis in Japanese and US patient」

Chairman : Chih-Jaan Tai (China Medical University Hospital, Taiwan, Professor)

Nobuo Ohta (Tohoku Medical and Pharmaceutical University, Japan,
Professor)

Speaker : Robert C. Kern (Northwestern University, USA, Professor)

Dong-Young Kim (Seoul National University, Korea, Professor)

Masanori Kidoguchi (University of Fukui, Japan, Assistant Professor)

Aiko Oka (International University of Health and Welfare, Japan, Assistant
Professor)

学術講演 3日目 5月30日(金)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(9:10~10:40)

6. 「Otology International Symposium: Korea-Thailand-Japan Joint Session」

Chairman: Yutaka Takumi (Shinshu University, Japan, Professor)
Kishiko Sunami (Osaka Metropolitan University, Japan, Professor)
Speaker: Jun Ho Lee (Seoul National University, Korea, Professor)
Jae-Jin Song (Seoul National University, Korea, Professor)
Paninee Charusripan (Chulalongkorn University, Thailand, Assistant Professor)
Napas Tanamai (Rajavithi Hospital, Thailand)
Kenichi Takano (Sapporo Medical University, Japan, Professor)

VIII 教育講演

学術講演 1日目 5月28日(水)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(9:30~10:30)

1. 「小児アレルギー性鼻炎」

司 会: 岡野 光博 (国際医療福祉大学教授)
演 者: 吉田加奈子 (福井大学特命助教)
増田佐和子 (三重病院部長)

学術講演 1日目 5月28日(水)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(16:30~18:00)

2. 「Facial Palsy」

司 会: 土井 勝美 (医誠会国際総合病院顧問)
演 者: Quyen Nguyen (University of California, Professor)
中川 尚志 (九州大学教授)
萩森 伸一 (大阪医科大学教授)

学術講演 2日目 5月29日(木)
会場 第2会場 3F 「G301+G302」

オンデマンドあり
(8:00~9:00)

3. 「高齢者のめまい診療」

司 会: 武田 憲昭 (徳島大学名誉教授)
演 者: 岩崎 真一 (名古屋市立大学教授)
角南貴司子 (大阪公立大学教授)

学術講演 2日目 5月29日(木)
会場 第4会場 3F 「G304」

オンデマンドあり
(8:00~9:00)

4. 「上咽頭擦過療法 (EAT)」

司 会：平野 隆 (大分大学教授)
演 者：熊井 琢美 (旭川医科大学特任准教授)
西 憲祐 (福岡歯科大学口腔医学研究センター研究員・西耳鼻咽喉科
副院長)

学術講演 2日目 5月29日(木)
会場 第4会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(15:20~16:20)

5. 「進化した嚥下障害治療」

司 会：兵頭 政光 (細木病院こえと嚥下のセンターセンター長)
演 者：木村百合香 (昭和医科大学江東豊洲病院教授)
平野 愛 (東北大学病院講師)

学術講演 3日目 5月30日(金)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(13:00~14:00)

6. 「Pathology of Chronic Rhinosinusitis with Nasal Polyps」

司 会：Sachio Takeno (Hiroshima University, Professor)
演 者：Atsushi Kato (Northwestern University, Associate Professor)

学術講演 3日目 5月30日(金)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(14:10~15:10)

7. 「嗅覚刺激療法 (嗅覚トレーニング)」

司 会：奥谷 文乃 (高知大学看護学科教授)
演 者：中村有加里 (金沢医科大学助教)
森 恵莉 (東京慈恵会医科大学講師)

IX 手術手技セミナー

学術講演 1日目 5月28日(水)
会場 第2会場 3F 「G301+G302」

オンデマンドあり
(14:50~15:50)

1. 「頭頸部手術」

司 会：朝蔭 孝宏 (東京科学大学教授)
演 者：藤本 保志 (愛知医科大学教授)

学術講演 2日目 5月29日(木)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(9:10~10:10)

2. 「鼻科手術指導医のESS IV型」

司 会：和田 弘太（東邦大学大森病院教授）
演 者：坂本 達則（島根大学教授）

学術講演 2日目 5月29日(木)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(15:20~16:20)

3. 「アドバンスドESS」

司 会：吉川 衛（東邦大学大橋病院教授）
演 者：大村 和弘（東京慈恵会医科大学講師）

学術講演 2日目 5月29日(木)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(16:30~17:30)

4. 「厳しい頭頸部癌手術」

司 会：花井 信広（愛知県がんセンター部長）
演 者：向川 卓志（静岡がんセンター部長）
塚原 清彰（東京医科大学教授）

学術講演 2日目 5月29日(木)
会場 第4会場 3F 「G304」

オンデマンドあり
(9:10~10:10)

5. 「喉頭・気管手術」

司 会：梅野 博仁（久留米大学教授）
演 者：中村 一博（日本大学板橋病院准教授）
二藤 隆春（国立国際医療センター病院診療科長・センター長）

学術講演 3日目 5月30日(金)
会場 第3会場 3F 「G303」

オンデマンドあり
(8:00~9:00)

6. 「耳科手術指導医の鼓室形成術」

司 会：濱田 昌史（東海大学教授）
演 者：田中 康広（獨協医科大学埼玉医療センター教授）
吉田 尚弘（自治医科大学さいたま医療センター教授）

学術講演 3日目 5月30日(金)
会場 第4会場 3F 「G304」

オンデマンドあり
(8:00~9:00)

7. 「甲状腺内視鏡手術」

司 会：加藤 久幸（藤田医科大学臨床教授）
演 者：片山 昭公（札幌徳洲会病院甲状腺内視鏡サージセンターセンター長）
菅野 真史（福井大学助教）

学術講演 3日目 5月30日(金)
会場 第4会場 3F 「G304」

オンデマンドあり
(13:00~14:00)

8. 「唾液腺手術」

司 会：折田 頼尚（熊本大学教授）
演 者：高原 幹（旭川医科大学教授）
八木 正夫（関西医科大学准教授）

X 未来ビジョン

学術講演 1日目 5月28日(水)
会場 第4会場 3F 「G304」

オンデマンドあり
(9:30~10:30)

1. 「国際学会の誘致・参加の Tips（助成・グラント獲得のコツ）」

司 会：山嵜 達也（東京通信病院病院長）
演 者：欠畑 誠治（太田総合病院中耳内視鏡手術センター長）
鴻 信義（東京慈恵会医科大学教授）
中川 尚志（九州大学教授）
香取 幸夫（東北大学教授）

学術講演 1日目 5月28日(水)
会場 第4会場 3F 「G304」

オンデマンドあり
(14:50~15:50)

2. 「耳鼻咽喉科医が守るこどもたちの未来—健診を再考する」

司 会：守本 倫子（国立成育医療研究センター診療部長）
坂 哲郎（さか耳鼻咽喉科院長）
演 者：千田いづみ（阿南医療センター部長・センター長）
島田 亜紀（せきね耳鼻咽喉科副院長）
原 浩貴（川崎医科大学教授）

学術講演 1日目 5月28日(水)
会場 第4会場 3F 「G304」

オンデマンドあり
(16:00~17:00)

3. 「ビッグデータで読み解く耳鼻咽喉科頭頸部外科の未来」

司 会：櫻井 大樹（山梨大学教授）
演 者：小川 洋（福島県立医科大学会津医療センター教授）
藤村真太郎（京都大学助教）
竹野 幸夫（広島大学教授）

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第3会場 3F 「G303」

(8:00~9:00)

4. 「保険医療の最前線—明日の診療を支える舞台裏—」

司 会：藤岡 治（藤岡耳鼻咽喉科医院院長）
池園 哲郎（埼玉医科大学教授）
演 者：春名 真一（獨協医科大学名誉教授）
川寄 良明（川寄耳鼻咽喉科院長）
萩森 伸一（大阪医科大学教授）

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(13:00~14:30)

5. 「未来を拓く情報発信！広報の挑戦と成果」

司 会：欠畑 誠治（太田総合病院中耳内視鏡手術センター長）
藤原 和典（鳥取大学教授）
演 者：高橋 剛史（新潟大学助教）
前田 陽平（JCHO 大阪病院部長）
水足 邦雄（東京女子医科大学足立医療センター准教授）
北山 一樹（大阪大学）
西尾 直樹（名古屋大学准教授）
白井 杏湖（東京医科大学講師）

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第4会場 3F 「G304」

(9:10~10:40)

6. 「決めつけしないで、あなたのキャリア—多彩な耳鼻咽喉科頭頸部外科医のキャリアプラン—」

第1部：こんな先生が耳鼻咽喉科頭頸部外科にはいるのです！

司 会：松浦 一登（国立がん研究センター東病院科長）
森田 由香（富山大学教授）
演 者：森野常太郎（株式会社 ReeNT 代表取締役社長）
高木 太郎（Raffles Japanese Clinic）
関 沙織（新潟県立中央病院部長）
萩野枝里子（おぎのクリニック京都駅前院長）

第2部：子育て支援賞 受賞講演

司 会：小川 武則（岐阜大学教授）
演 者：受賞施設第1位 原 浩貴（川崎医科大学教授）
受賞施設第2位 大原 賢三（旭川医科大学講師）
受賞施設第3位 竹田 大樹（熊本大学助教）
受賞施設第3位 増田 聖子（熊本労災病院部長）

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第4会場 3F 「G304」

(14:10~15:10)

7. 「騒音性難聴と睡眠呼吸障害に対峙する」

司 会：野上兼一郎（野上耳鼻咽喉科医院院長）
演 者：和田 哲郎（筑波大学病院教授）
松延 毅（日本医科大学准教授）
中田 誠一（名鉄病院睡眠障害センター長）

XI 共通講習

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(10:50~11:50)

1. 「複雑困難な時代を生き抜く臨床医のメソッド（地域医療 必修講習B）」

司 会：山下 勝（鹿児島大学教授）
演 者：藤沼 康樹（医療福祉生協連家庭医療学開発センターセンター長）

学術講演 2日目 5月29日(木)

オンデマンドあり

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(14:10~15:10)

2. 「トラブルを未然に防ぐカルテの書き方（医療安全）」

司 会：荒木 幸仁（防衛医科大学校教授・医療安全・感染対策部部長）
演 者：田邊 昇（中村・平井・田邊法律事務所弁護士・医師）

学術講演 3日目 5月30日(金)

オンデマンドあり

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(10:50~11:50)

3. 「医療モデルから生活モデル、そして社会モデル—今、医療に求められるものは（医療福祉制度）」

司 会：平林 秀樹（獨協医科大学特任教授）
演 者：紅谷 浩之（医療法人社団オレンジ理事長）

XII 医学生・臨床研修医プログラム（杏林製薬医学教育プロジェクト）

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

（16：30～18：00）

医学生・臨床研修医のためのセミナー

「耳鼻咽喉科頭頸部外科で広がる未来、選べる自由、デザインするキャリア！」

司 会：羽藤 直人理事（卒前・卒後教育委員会）

学術講演 2日目 5月29日（木）

会場 ハンズオン会場 4F 「G401+G402」

医学生・臨床研修医のための診療体験ハンズオン

全3コース 各4回 9：30～10：30、10：50～11：50、15：30～16：30、16：45～17：45

XIII MSD 医学教育事業助成セミナー

学術講演 2日目 5月29日（木）

会場 第10会場 2F 「G215」

（12：00～12：50）

「HPV 関連頭頸部腫瘍—研究の cutting edge—」

司 会：大上 研二（東海大学教授）

演 者：森 将史（大阪大学）

三澤 清（浜松医科大学教授）

XIV 市民公開講座

学術講演 3日目 5月30日（金）

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

オンデマンドあり

（15：30～16：30）

「厄介な副鼻腔炎と増加している花粉症の併存症」

司 会：高林 哲司（福井大学准教授）

演 者：大澤 陽子（福井赤十字病院代表部長）

津田 武（大阪大学助教）

XV 学術セミナー（共催セミナー）

アフタヌーンセミナー

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第3会場 3F 「G303」

（14：50～16：20）

「Deep dive to pathophysiology of CRSwNP」

（サノフィ株式会社 スペシャルティケア メディカル本部）

司 会：神前 英明（滋賀医科大学講師）

近藤 健二（東京大学教授）

演 者：中山 次久（獨協医科大学教授）

Bruce K. Tan（Northwestern University, Associate Professor）

ランチョンセミナー

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

（12：00～12：50）

1. 「再発・転移頭頸部癌における ICI 治療の実際—適切な使い方と注意点—」（MSD 株式会社）

司 会：猪原 秀典（大阪大学教授）

演 者：田原 信（国立がん研究センター東病院科長）

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

（12：00～12：50）

2. 「PROPEL™ 副鼻腔インプラントの可能性」（日本メドトロニック株式会社）

司 会：和田 弘太（東邦大学大森病院教授）

演 者：都築 建三（兵庫医科大学教授）

鴻 信義（東京慈恵会医科大学教授）

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第3会場 3F 「G303」

（12：00～12：50）

3. 「耳鼻咽喉科頭頸部外科領域における原発性免疫不全症候群（PID）」（武田薬品工業株式会社）

司 会：藤枝 重治（福井大学教授）

演 者：保富 宗城（和歌山県立医科大学教授）

学術講演 1日目 5月28日(水)

会場 第4会場 3F 「G304」

(12:00~12:50)

4. 「ダニ舌下免疫療法における長期投与の有効性と安全性～実臨床でのエビデンスを踏まえ～」

(鳥居薬品株式会社)

司 会：岡本 美孝 (千葉労災病院院長)

演 者：後藤 穰 (日本医科大学花粉症学教授・日本医科大学多摩永山病院教授)

学術講演 1日目 5月28日(水)

会場 第5会場 4F 「G403」

(12:00~12:50)

5. 「花粉症重症化ゼロ作戦のレシピ」(Meiji Seika ファルマ株式会社・大鵬薬品工業株式会社)

司 会：原渕 保明 (旭川医科大学名誉教授)

演 者：岡野 光博 (国際医療福祉大学教授)

学術講演 1日目 5月28日(水)

会場 第6会場 4F 「G404」

(12:00~12:50)

6. 「ひとりひとりの蝸牛に合わせた人工内耳電極の選択」(メドエルジャパン株式会社)

司 会：宇佐美真一 (信州大学名誉教授・人工聴覚器学講座特任教授)

演 者：Masoud Zoka Assadi (Head of Image Guided Surgery & Surgical Tools,
R&D, MED-EL Medical Electronics (Austria))

吉村 豪兼 (信州大学講師)

学術講演 1日目 5月28日(水)

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(12:00~12:50)

7. 「耳鼻咽喉科診療に役立つ漢方処方」(株式会社ツムラ)

司 会：堀井 新 (新潟大学教授)

演 者：呉 明美 (福井大学)

新井 基洋 (横浜市立みなと赤十字病院部長)

学術講演 1日目 5月28日(水)

会場 第8会場 3F 「G318+G319」

(12:00~12:50)

8. 「頭頸部癌に対するホウ素中性子捕捉療法 ―保険適用5年でみえてきたもの―」

(ステラファーマ株式会社・住友重機械工業株式会社)

司 会：丹生 健一 (神戸大学教授)

演 者：栗飯原輝人 (大阪医科大学関西 BNCT 共同医療センター専門教授)

学術講演 1日目 5月28日(水)

会場 第9会場 4F 「G414+G415」

(12:00~12:50)

9. 「最新手術機器で診る ESS の新しい景色」(日本ストライカー株式会社)

司 会: 春名 真一 (獨協医科大学名誉教授)
演 者: 大村 和弘 (東京慈恵会医科大学講師)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(12:00~12:50)

10. 「経験から学ぶ BRAF 変異陽性甲状腺癌治療~明日からの診療に向けて~」

(ノバルティス ファーマ株式会社)

司 会: 平野 滋 (京都府立医科大学教授)
演 者: 前川 武雄 (自治医科大学さいたま医療センター皮膚科准教授)
鈴木 章史 (伊藤病院外科医長)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(12:00~12:50)

11. 「CRSwNP 治療におけるデュピルマブの真価」

(サノフィ株式会社・リジェネロン・ジャパン株式会社)

司 会: 山田武千代 (秋田大学教授)
演 者: 鈴木 正宣 (北海道大学講師)
洲崎 勲夫 (昭和医科大学講師)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第3会場 3F 「G303」

(12:00~12:50)

12. 「舌下免疫療法の肝^{かんどころ}所」(鳥居薬品株式会社)

司 会: 竹中 洋 (医学・医療システム研究室法人代表理事)
演 者: 湯田 厚司 (ゆたクリニック院長)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第4会場 3F 「G304」

(12:00~12:50)

13. 「再発・転移頭頸部癌でのプラチナ抵抗性の概念と最適な治療レジメンを考える」

(プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社・小野薬品工業株式会社)

司 会: 家根 旦有 (ベルランド総合病院顧問)
演 者: 安松 隆治 (近畿大学教授)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第5会場 4F 「G403」

(12:00~12:50)

14. 「成人・高齢者の早期人工内耳装用の適応とその有用性」(株式会社日本コクレア)

司 会：曾根三千彦(名古屋大学教授)
演 者：南 修司郎(東京医療センターセンター長)
Terry Zwolan (Director, Cochlear Americas)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第6会場 4F 「G404」

(12:00~12:50)

15. 「実耳測定を生かした補聴器診療—満足度向上を目指して—」(ソノヴァ・ジャパン株式会社)

司 会：村上 信五(名古屋市立大学名誉教授)
演 者：関谷 健一(関谷耳鼻咽喉科院長)
原田 昌彦(ハラダきこえクリニック北浜院長)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(12:00~12:50)

16. 「穿刺吸引細胞診の新機軸～検体採取の最適化を目指して」(第一医科株式会社)

司 会：堀 龍介(産業医科大学教授)
演 者：児嶋 剛(京都大学講師)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第8会場 3F 「G318+G319」

(12:00~12:50)

17. 「頭頸部がん患者における全人的外来マネージメント」(塩野義製薬株式会社)

司 会：羽藤 直人(愛媛大学教授)
演 者：吉本 世一(国立がん研究センター中央病院科長)

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第9会場 4F 「G414+G415」

(12:00~12:50)

18. 「留学を含めた研究歴」(マキチエ株式会社)

司 会：大森 孝一(京都大学教授)
藤枝 重治(福井大学教授)
演 者：大森 孝一(京都大学教授)
藤枝 重治(福井大学教授)

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第1会場 1F 「G5+G6」

(12:00~12:50)

19. 「IL-5/好酸球による将来リスクを踏まえたバイオ製剤の選択」

(グラクソ・スミスクライン株式会社)

司 会：寺田 哲也（大阪医科薬科大学教授・センター長）
演 者：玉田 勉（東北大学呼吸器内科准教授）

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第2会場 3F 「G301+G302」

(12:00~12:50)

20. 「耳鼻咽喉科内視鏡検査の未来を考える～Superiority becomes Standard～」

(オリンパスマーケティング株式会社)

司 会：楯谷 一郎（藤田医科大学教授）
演 者：岸本 曜（京都大学准教授）
細川 悠（埼玉医科大学講師）

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第3会場 3F 「G303」

(12:00~12:50)

21. 「甲状腺がん薬物療法における個別化医療の現状と課題」(小野薬品工業株式会社)

司 会：本間 明宏（北海道大学教授）
演 者：本間 義崇（国立がん研究センター中央病院医長）

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第4会場 3F 「G304」

(12:00~12:50)

22. 「頭頸部がん免疫環境の分類・変動・治療戦略」(メルクバイオフーマ株式会社)

司 会：香取 幸夫（東北大学教授）
演 者：辻川 敬裕（京都府立医科大学学内講師）

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第5会場 4F 「G403」

(12:00~12:50)

23. 「アレルギー性鼻炎 世代別の診療アプローチと治療の最前線」(杏林製薬株式会社)

司 会：大久保公裕（日本医科大学名誉教授）
演 者：太田 伸男（東北医科薬科大学教授）

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第6会場 4F 「G404」

(12:00~12:50)

24. 「外リンパ瘻とCTP検査 どのような症例に検査を行うか」

(株式会社コスミックコーポレーション)

司 会：欠畑 誠治(太田総合病院中耳内視鏡手術センター長)
演 者：松田 帆(埼玉医科大学講師)

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(12:00~12:50)

25. 「鼻から喉から BiZact™ —Advanced Bipolar Device の新境地—」

(コヴィディエンジャパン株式会社)

司 会：松本 文彦(順天堂大学教授)
演 者：寺西 裕一(大阪公立大学講師)
中村 宏舞(愛知医科大学助教)

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第8会場 3F 「G318+G319」

(12:00~12:50)

26. 「本格導入から2年を経た舌下神経刺激療法の成果」(Inspire Medical Systems Japan 合同会社)

司 会：北原 糺(奈良県立医科大学教授)
演 者：大峽 慎一(順天堂大学准教授)
安達 美佳(東北大学講師)

学術講演 3日目 5月30日(金)

会場 第9会場 4F 「G414+G415」

(12:00~12:50)

27. 「味覚障害の診断と治療~その実践ポイント」

(ノーベルファーマ株式会社・株式会社メディパルホールディングス)

司 会：山村 幸江(東京女子医科大学准教授)
演 者：任 智美(兵庫医科大学講師)

スイーツセミナー

学術講演 1日目 5月28日(水)

会場 第4会場 3F 「G304」

(17:10~18:00)

1. 「アレルギー性鼻炎診療 UP TO DATE 2025」(田辺三菱製薬株式会社・帝國製薬株式会社)

司 会：黒野 祐一(鹿児島大学名誉教授)
演 者：近藤 健二(東京大学教授)

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(14:50～15:40)

2. 「ヘッドホン・イヤホン難聴の啓発活動の現状」(ブルームヒアリング株式会社)

司 会：野上兼一郎（野上耳鼻咽喉科医院院長）

演 者：松延 毅（日本医科大学准教授）

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(16:00～16:50)

3. 「耳鼻咽喉科感染症治療におけるキノロンの役割」(杏林製薬株式会社)

司 会：藤岡 治（藤岡耳鼻咽喉科医院院長）

演 者：保富 宗城（和歌山県立医科大学教授）

学術講演 1日目 5月28日（水）

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(17:10～18:00)

4. 「ゲノム医療時代における分化型甲状腺癌に対するレンバチニブの役割」(エーザイ株式会社)

司 会：渡邊 昭仁（恵佑会札幌病院主任部長）

演 者：加藤 弘（北里大学乳腺・甲状腺外科准教授）

学術講演 2日目 5月29日（木）

会場 第6会場 4F 「G404」

(15:20～16:10)

5. 「4年半で蓄積されたデータから考える頭頸部アルミノックス治療」(楽天メディカル株式会社)

司 会：塚原 清彰（東京医科大学教授）

演 者：篠崎 剛（国立がん研究センター東病院医長）

学術講演 2日目 5月29日（木）

会場 第6会場 4F 「G404」

(16:30～17:20)

6. 「CPAP療法成功のために、耳鼻咽喉科医がおこなう個別化医療の未来」(チェスト株式会社)

司 会：鈴木 雅明（帝京大学ちば総合医療センター教授）

演 者：千葉伸太郎（太田総合病院記念研究所太田睡眠科学センター所長）

学術講演 2日目 5月29日（木）

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(10:00～10:50)

7. 「未来を開く～新化する新しい針の形～」(株式会社ベアーメディック)

司 会：岡本 伊作（東京医科大学教授）

演 者：西村 文吾（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター部長）

岡村 純（聖隷浜松病院部長）

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(15:20~16:10)

8. 「耳からはじめる介護・認知症予防への取り組みとヒアリングフレイルの啓発」

(ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社)

司 会：小島 博己（東京慈恵会医科大学教授）
演 者：中石真一路（ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
聴脳科学総合研究所所長）

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(16:30~17:20)

9. 「Harmonic における低侵襲頭頸部癌手術」(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)

司 会：松浦 一登（国立がん研究センター東病院科長）
演 者：加納 里志（北海道大学准教授）
松本 文彦（順天堂大学教授）

モーニングセミナー

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(8:00~8:50)

1. 「好酸球を意識した CRSwNP 治療戦略の意義 ～IL-5 の新たな側面を知る～」

(グラクソ・スミスクライン株式会社)

司 会：松根 彰志（大森赤十字病院部長）
演 者：意元 義政（福井大学講師）

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

(9:00~9:50)

2. 「内耳毒性と点耳薬の適正使用」(セオリアファーマ株式会社)

司 会：堀井 新（新潟大学教授）
演 者：中川 尚志（九州大学教授）

学術講演 2日目 5月29日(木)

会場 第8会場 3F 「G318+G319」

(8:00~8:50)

3. 「論文執筆アシストなどの AI ツール導入がもたらす働き方改革へのインパクト
(福井大学×エディテージ)」(カクタス・コミュニケーションズ株式会社)

司 会：守本 倫子（国立成育医療研究センター診療部長）
演 者：坂下 雅文（福井大学講師）
横木 麻耶（カクタス・コミュニケーションズ株式会社
マーケティング部）

学術講演 3日目 5月30日（金）

会場 第7会場 3F 「G316+G317」

（9：10～10：00）

4. 「食—腸内細菌—がん：その研究の現状と展望」（ミヤリサン製薬株式会社）

司 会：山唄 達也（東京通信病院病院長）

演 者：内藤 裕二（京都府立医科大学学生体免疫栄養学教授）

XVI International Session

学術会場 1日目 5月28日(水)／May 28 (Wed)

第8会場 (3F G318+G319)

International Session 1 Nasal Surgery

(9:00～9:50)

Chair: Te-Huei Yeh (National Taiwan University Hospital)
Hidenori Yokoi (Kyorin University)

- IS-001 Clinical Study of Radicular Cyst Treatment Using Endoscopic Sinus Surgery (ESS)
Yuki Takizawa (Tokyo Dental College Ichikawa General Hospital)
- IS-002 Hemitransfixion approach using Modified Cutting and Suture Technique and Swing Door Technique
Kotaro Kano (Hamamatsu University Hospital)
- IS-003 Objective evaluation of caudal septal deviation and selection of the appropriate septoplasty
Shogo Kimura (Hokkaido University)
- IS-004 Anatomical differences between GHoma and PitNET cases Tomoharu Suzuki (Kyushu University)
- IS-005 Withdrawn

International Session 2 Audiology 1

(9:50～10:50)

Chair: Ken Ito (Teikyo University)
Akinori Kashio (The University of Tokyo)

- IS-006 Progressive Late-onset Hearing Loss Associated with a *GSDME* Variant: A Case Report of DFNA5
Miu Takeuchi (Tokyo Bay Urayasu Ichikawa Medical Center)
- IS-007 Status and issues of hearing aid implementation at Nihonkai General Hospital, Shonai, Yamagata
Hiroomi Matsui (Nihonkai General Hospital)
- IS-008 Clinical analysis of 50 cases with the symptom of difficulty in listening
Chikako Shinkawa (Yamagata University)
- IS-009 COVID-19 Infection, Vaccination, and Idiopathic Sudden Sensorineural Hearing Loss in Malaysia
Nur Sabrina Abdul Rahim (Ministry of Health Malaysia, Perak, Malaysia)
- IS-010 Working behaviors and the risk of sensorineural hearing loss: A large cohort study
Wendu Pang (West China Hospital, Sichuan University, Chengdu, China)
- IS-011 Hearing Assessments in Translabrynthine Vestibular Schwannoma Removal and Cochlear Implantation
Guhan Kumarasamy (Hospital Raja Permaisuri Bainun, Ipoh, Malaysia)

International Session 3 Equilibrium Research 1

(14 : 50 ~ 15 : 40)

Chair: Munetaka Ushio (Toho University Sakura Medical Center)
Michiro Fujisaka (University of Toyama)

- IS-012 Effectiveness of a Wearable Vestibular Model in Teaching BPPV and
Canalith Repositioning Maneuvers Augustine Chai (Tan Tock Seng Hospital, Singapore, Singapore)
- IS-013 The Development of an E-learning Module (SMART-BPPV) as a Learning Platform for BPPV
Alex Zxi Jian Ho (Hospital Tengaku Ampuan Afzan, Kuantan, Malaysia)
- IS-014 Comparison Between Furosemide-Loaded VEMP and Gadolinium Enhanced Inner Ear MRI
Hideharu Abe (University of Toyama)
- IS-015 Development of a new maneuver to rapidly restore positional nystagmus in patients with BPPV
Keita Ueda (Nara Medical University)
- IS-016 GWAS of Disequilibrium-Related Genes Using the Hybrid Mouse Diversity Panel
Yuzuru Ninoyu (Kyoto Prefectural University of Medicine)

International Session 4 Otology-Surgery

(15 : 40 ~ 16 : 40)

Chair: Masafumi Sakagami (Hyogo Medical University)
Hiroshi Sunose (Tokyo Women's Medical University Adachi Medical Center)

- IS-017 A pediatric case of external canal cholesteatoma with extensive invasion into the mastoid cavity
Kohei Yamahara (Fujita Health University)
- IS-018 Characteristics of Calcified Tympanic Membranes in Tympanic Membrane Regeneration Therapy
Tomoya Yamaguchi (Kitano Hospital)
- IS-019 Optimization of Decompression Angles in Facial Nerve Decompression Surgery
Moeka Kanazawa (St. Marianna University School of Medicine)
- IS-020 Hearing and facial prognosis in facial nerve decompression with preservation of the ossicular chain
Sosuke Sahara (Hamamatsu University School of Medicine)
- IS-021 Endoscopic Underlay Myringoplasty with Tympanomeatal Flap and Temporalis Fascia Graft
Htin Lin San (Eye, Ear, Throat and Head & Neck Specialist Hospital, Naypyidaw, Myanmar)
- IS-022 Hearing Outcomes of Ossiculoplasty by Double Cartilage Block in Canal Wall Down Mastoidectomy
Chih-Hung Cha (Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital, Kaohsiung, Taiwan)

International Session 5 Technology

(16 : 40 ~ 17 : 50)

Chair: Yutaka Yamamoto (Jikei University)
Tetsuya Terada (Osaka Medical and Pharmaceutical University)

- IS-023 Development of Interactive 3D Models for Temporal Bone Surgical Anatomy Using Photogrammetry
Yoshihiko Hiraga (Japanese Red Cross Shizuoka Hospital)
- IS-024 Differences in functional brain imaging between the non-users and long-term users of hearing aids
Takanori Nishiyama (Keio University)
- IS-025 Transcriptomic comparison of avian auditory and vestibular hair cells Mitsuo Sato (Kindai University)
- IS-026 Microbiome analysis of Eosinophilic otitis media using next-generation sequencing
Rieko Ii (University of Tsukuba)
- IS-027 A Review of 10 Accepted Case Reports in International Journals
Kensuke Uruguchi (Kagawa Rosai Hospital)
- IS-028 Evaluation and Future Prospects of Hands-On Experience in Pre-Graduate Clinical Training
Eriko Sato (Ehime University)
- IS-029 Machine Learning Predicts Bone-Anchored Hearing Device Outcomes in Single-Sided Deafness
Rini Winarti (Yogyakarta State University, Sleman, Indonesia)

第9会場 (4F G414+G415)

International Session 6 Pharynx/Larynx

(9 : 00 ~ 9 : 50)

Chair: Masanori Teshima (Kochi University)
Kiyohito Hosokawa (The University of Osaka)

- IS-030 Morphological analysis of EBV-positive nasopharyngeal carcinoma cells
Shigetaka Komura (Kanazawa University)
- IS-031 Supraglottic partial laryngectomy with rotation of the hyoid body
Masakaz Ikeda (Fukushima Medical University)
- IS-032 A novel technique to achieve excellent hypopharyngeal exposure in transoral surgery
Satoshi Koyama (Tottori University)
- IS-033 Transoral videolaryngoscopic surgery for older patients with laryngopharyngeal cancer
Takahiro Hirano (National Defense Medical College)
- IS-034 Distress and quality of life in post-treatment nasopharyngeal carcinoma: Two-center study
Mohamed Ilyas Bin Sultan Abdul Kader (University of Kebangsaan Malaysia, Kuala Lumpur, Malaysia)

International Session 7 Benign Tumors

(9 : 50 ~ 10 : 40)

Chair: Mizuo Ando (Okayama University)
Hirotaka Shinomiya (Kobe University Hospital)

- IS-035 A review of parathyroid surgery cases in our department
Tomoki Shimozone (Kagoshima Medical Center)
- IS-036 Intraoperative identification of parathyroid with 4K 3D ORBEYE exoscope in thyroid surgery
Asami Kageyama (Tokushima University)
- IS-037 An unusual case of recurrent laryngeal nerve palsy caused by chronic inflammation in nodular goiter
Dinh Nam Nguyen (International University of Health and Welfare, School of Medicine, Narita Hospital)
- IS-038 Crystal clear: unusual presentation of gouty tophi mimicking thyroid malignancy in a 42-year old man
Cloie Anne P Rabinetas (St. Luke's Medical Center, Quezon City, Philippines)
- IS-039 Stratification of pediatric thyroid nodules utilizing molecular information
Ken Kazahaya (University of Pennsylvania, Philadelphia, USA)

International Session 8 Thyroid Cancer

(14 : 50 ~ 15 : 50)

Chair: Morimasa Kitamura (Kanazawa Medical University)
Yuki Saito (The University of Tokyo)

- IS-040 Deltopectoral flap reconstruction for esophageal fistula caused by lenvatinib in thyroid cancer
Yuji Kanazawa (Shizuoka General Hospital)
- IS-041 Clinical Features of Coexisting Thyroid Cancer in Patients with Graves' Disease
Keisuke Yamamoto (Sapporo Medical University)
- IS-042 Analysis of pluripotency-related proteins for establishing an anaplastic thyroid carcinoma model
Ryo Kawaura (Gifu University)
- IS-043 Correlation between gene mutations and clinical characteristics in papillary thyroid cancer
Daisuke Uno (Kanazawa University)
- IS-044 Tumor emboli of thyroid papillary carcinoma into right brachiocephalic vein: A case report
Mayu Shigeyama (Nagoya University)
- IS-045 Transoral endoscopic thyroidectomy vestibular approach (TOETVA) our experiences in Bangladesh
Md. Mahbub Alam (Shaheed Suhrawardy Medical College Hospital, Dhaka, Bangladesh)

International Session 9 Otology-Basic Research 1

(15 : 50~16 : 50)

Chair: Yoshihiro Noguchi (International University of Health and Welfare)
Kazuhisa Yamamoto (Jikei University)

- IS-046 Animal Study: Role of Prenatal Stress in Accelerating Age-Related Hearing Loss
Satoshi Hara (Juntendo University)
- IS-047 Transient ischemia at mouse embryonic day causes congenital hearing loss with cochlear degeneration
Erisa Takahashi (The Jikei University School of Medicine)
- IS-048 ABR and cochlear microphonics elicited by ultrasound beyond the hearing range in guinea pigs
Bakushi Ogawa (Gifu University)
- IS-049 Delivery of a Neuron-Specific Adeno-Associated Virus Vector into the Mouse Inner Ear
Yota Tobe (Kyoto University)
- IS-050 The effects of bFGF and gelatin sponge on blast-induced tympanic membrane perforation in mice
Shingo Yasutake (National Defense Medical College)
- IS-051 From Hyperglycemia to Hearing Loss: Investigating Cochlear mRNA Expression Changes in Diabetic Models
Ting Wang (National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan)

International Session 10 Otology-Basic Research 2

(16 : 50~18 : 00)

Chair: Kazuma Sugahara (Yamaguchi University)
Hiroyuki Yamada (Ehime University)

- IS-052 Effects of polyamines on mitochondrial metabolism in the cochlear cell line HEI-OC1
Teru Kamogashira (The University of Tokyo)
- IS-053 EDNRB2 is a Novel Marker for Precursor Cells in the Avian Auditory Epithelium
Marie Takeuchi (Kyoto University)
- IS-054 Hair bundle stiffness of inner ear hair cells is regulated by myosin II activity.
Ryohei Oya (Osaka General Medical Center)
- IS-055 The roles of TRPV4 in aminoglycoside-induced cochlear ototoxicity
Lingshuai Kong (Kitasato University)
- IS-056 N¹-methylnicotinamide accelerates cochlear aging through SIRT1 overexpression
Toru Miwa (Teikyo University Hospital Mizonokuchi)
- IS-057 Suppression of TGF- β exacerbates degeneration of auditory neurons in kanamycin induced ototoxicity
Yoshihiro Nitta (Kitasato University)
- IS-058 Skull Vibration-Induced Nystagmus Test as Rapid Screening Tool for Peripheral Vestibular Disorders
Nurul Aisyah Mohd Reduzan (Universiti Kebangsaan Malaysia, Kuala Lumpur, Malaysia)

第10会場 (2F G215)

International Session 11 Swallowing

(9 : 00 ~ 9 : 50)

Chair: Shun-ichi Chitose (Kurume University)
Mitsuyoshi Imaizumi (Fukushima Medical University)

- IS-059 Biomaterial-Assisted Cell Delivery for Regenerating Swallowing-Related Muscles
Hideaki Okuyama (Uji Tokushukai Hospital)
- IS-060 A pathophysiological study of dysphagia in myotonic dystrophy using mouse models
Rie Asayama (Ehime University)
- IS-061 Prediction of oral intake after esophagectomy using fiberoptic endoscopic evaluation of swallowing
Takanari Kawabe (The University of Osaka)
- IS-062 Reduction in Pneumonia Incidence Following Laryngoplasty for Unilateral Vocal Fold Paralysis
Hemmi Masahiro (Yokohama City University)
- IS-063 Accumulated Oropharyngeal Secretions in Adult Patients with Oropharyngeal Dysphagia
Daryl Anne del Mundo (University of the Philippines, Manila, Philippines)

International Session 12 Cancer Prognosis

(9 : 50 ~ 10 : 30)

Chair: Masahiro Kikuchi (Kobe City Medical Center General Hospital)
Yushi Ueki (Niigata University)

- IS-064 Prognostic association of postoperative complications after free-flap reconstruction for HNSCC
Hiroya Yonaga (Shizuoka Cancer Center)
- IS-065 Predictors of QOL Survey pre-CRT for HNC on Type of Meal at Discharge and Length of Hospital Stay
Kazuya Tsukada (Kitasato University Hospital)
- IS-066 A rapid multiplex immunohistochemical platform for immune-precision medicine of head and neck cancer
Alisa Kimura (Kyoto Prefectural University of Medicine)
- IS-067 Role of hyperbaric oxygen therapy (HBOT) in skull base osteoradionecrosis: A systematic review
Yong Hong Ng (Singapore General Hospital, Singapore, Singapore)

International Session 13 Malignant Tumors 1

(14 : 50 ~ 15 : 50)

Chair: Takuo Fujisawa (Kansai Medical University)
Yoshinori Takizawa (Hamamatsu University)

- IS-068 The multiple roles of p63 in human salivary duct adenocarcinoma cells
Masahiko Oyanagi (Sapporo Medical University)
- IS-069 Exploration of therapeutic targets using growth inhibitors for Head and Neck mucosal melanoma
Takayoshi Hattori (Hiroshima University)
- IS-070 A Case of Sweat Gland Carcinoma with Subclavian Lymph Node Metastasis
Kotaro Terayama (Tokyo Metropolitan Tama Medical Center)
- IS-071 Withdrawn
- IS-072 Canalicular Adenoma in the Parotid Gland: A Rare Case Study
Adel Azar (Damascus University, Damascus, Syria)
- IS-073 A rare case of Metastatic Amelanotic Malignant Melanoma of parotid gland: A diagnosis dilemma
Laavanya Rajendran (Universiti Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia)

International Session 14 Larynx

(15 : 50 ~ 16 : 50)

Chair: Koichiro Saito (Kyorin University)
Koji Matsushima (Toho University)

- IS-074 A specific clinical study to evaluate the efficacy and safety of intracordal trafermin injection
Tomohiro Hasegawa (International University of Health and Welfare)
- IS-075 The 10 cases of corrosive pharyngeal laryngoesophagitis at our hospital
Takahisa Tabata (Fukuoka Tokushukai Hospital)
- IS-076 HPV6-induced inflammatory and oncogenic gene expression in recurrent respiratory papillomatosis
Naoyuki Matsumoto (The University of Tokyo)
- IS-077 Effect of cigarette smoke on the laryngeal epithelium of C57BL/6 mice
Ayana Komurasaki (Kyoto University)
- IS-078 rTMS Effects in Adductor Spasmodic Dysphonia
Tuan Thanh Nguyen (University of Health Sciences, Ho Chi Minh, Vietnam)
- IS-079 An Approach for Tracheal Defect Restoration by Enhancing Feasibility of Epithelial Cell Sheets
Nguyen-Kieu Viet-Nhi (Taipei Medical University, Taipei, Taiwan)

International Session 15 Cancer Chemotherapy

(16 : 50 ~ 18 : 00)

Chair: Kazuaki Chikamatsu (Gunma University)
Muneyyuki Masuda (Kyushu Cancer Center)

- IS-080 CRISPR screening reveals that mTOR inhibition initiates ferroptotic regulated cancer cell death
Keiichi Koshizuka (Chiba University)
- IS-081 Efficacy of mTOR inhibitors in human papillomavirus related squamous cell carcinoma of head and neck
Hidetoshi Kinjo (University of the Ryukyus)
- IS-082 Lymph Node-Mediated Immune Differences in Orthotopic vs. Heterotopic Head and Neck Cancer Models
Michihisa Kono (Asahikawa Medical University)
- IS-083 Building a PDX Library for Head and Neck Cancer: Unveiling Mechanisms of Chemotherapy Resistance
Chikako Yagi (Fujita Health University)
- IS-084 NRF2 Activation and Targeted Therapy in Cisplatin-Resistant Head and Neck Squamous Cell Carcinoma
Yuki Nakayama (Tohoku University)
- IS-085 Bispecific ADC Targeting PD-L1 and B7-H3 Enhances Antitumor Efficacy and Immune Responses
Yijun Dong (West China Hospital of Sichuan University, Chengdu, China)
- IS-086 Enhancement of photodynamic effect by implantable hydrogel lens-microneedles optical waveguide
Yao-Ching Wang (Cheng Hsin General Hospital, Taipei, Taiwan)

学術会場 2日目 5月29日(木)／May 29(Thur)

第8会場 (3F G318+G319)

International Session 16 Immunology

(9:20~10:40)

Chair: Motohiko Suzuki (Nagoya City University)
Go Inokuchi (Kakogawa Central City Hospital)

- IS-087 Additional study of clinical data on the two pathogenesis of peritonsillar abscesses
Yoshinori Kadowaki (Oita University)
- IS-088 Search for RSV therapeutic targets through phenotypic screening from repurposed pediatric drugs
Yuka Tanimukai (Sapporo Medical University School of Medicine)
- IS-089 Role of ILC2 in Middle Ear Mucosa: A Study Using a Papain-Induced Eosinophilic Otitis Media Model
Daisuke Matsushita (Hirosaki University)
- IS-090 Loss of peptidylarginine deiminase 4 in T follicular helper cells dysregulates humoral responses
Taiki Sugaya (Sapporo Medical University School of Medicine)
- IS-091 Differential RPS26 gene expression and the role of RPS26 gene in sublingual immunotherapy patients.
Hironori Nakayoshi (University of the Ryukyus)
- IS-092 Up-regulation of CXCR3 on tonsillar T-cells in patients with IgA nephropathy
Risa Wakisaka (Asahikawa Medical University)
- IS-093 Deep Learning Predicts Recovery in Post-Viral Olfactory Dysfunction Using fMRI and Microbiome Data
Sahnaz V Putri (International University Semen Indonesia, Gresik, Indonesia)
- IS-094 mRNA-LNP Vaccination Induces Systemic Immunity Against HPV-positive Head and Neck Cancer
Minzi Mao (West China School of Medicine and West China Hospital of Sichuan University, Chengdu, China)

International Session 17 Rhinology-Case Report

(15:20~16:10)

Chair: Ichiro Tojima (Shiga University of Medical Science)
Isao Suzuki (Showa Medical University)

- IS-095 Improvement of respiratory symptoms in patients with rare diseases treated with RAMPA therapy
Bumkyoo Choi (Children and Women Dental Clinic)
- IS-096 Congenital Nasal Pyriform Aperture Stenosis: An Endeavor for Improved Respiratory Health
Syed Ahmad Izzat Tuan Besar (Universiti Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia)
- IS-097 Acute drooling & aphonia of antrochoanal polyp and literature review
Nadia Syafeera Naserrudin (Hospital Selayang, Batu Caves, Malaysia)
- IS-098 The rare entity of sinonasal Glomangiopericytomas
Rong Tan (National Healthcare Group, Singapore, Singapore)
- IS-099 Steroids or Scalpel? Treatment Challenges in IgG4-Related Sinonasal Tumors
Abdul Hafeez Asyraf Bin Abdul Mohsin Rejaludin (Hospital Sultanah Bahiyah, Kedah, Alor Setar, Malaysia)

International Session 18 Nasal Surgery 2

(16 : 10~17 : 10)

Chair: Masayoshi Kobayashi (Mie University)
Shuho Tanaka (University of Tsukuba)

- IS-100 Combined approach and transfrontonasal mopping of frontal sinusitis with Rochon-Duvigneaud Syndrome
Ren Hui Lo (Hospital Sultanah Nur Zahirah, Kuala Terengganu, Malaysia)
- IS-101 Olfactory recovery after endoscopic endonasal transsphenoidal surgery for pituitary lesions
Paul Patrick Berundang (Sarawak General Hospital, Kuching, Malaysia)
- IS-102 Evaluate The Outcomes Of Modified Endoscopic Medial Maxillectomy At ENT Hospital HCMc
Ngoc Danh Le (ENT Hospital Ho Chi Minh, Ho Chi Minh, Vietnam)
- IS-103 A systematic review and network meta-analysis of analgesic modalities in sinonasal surgery
Alicia Su Yun See (Sengkang General Hospital, Singapore, Singapore)
- IS-104 Effectiveness of modified septal extension graft in nasal tip projection and rotation in Rhinoplasty
Laith Ali Al-Tamimi (Gazi AL-HARIRI Hospital, Baghdad, Iraq)
- IS-105 Using Caudal Batten Grafis in Septoplasty at Cho Ray Hospital, Vietnam 2023-2024
Nhu Thuy Ho (Cho Ray Hospital, Ho Chi Minh, Vietnam)

International Session 19 Pediatric Larynx

(17 : 10~18 : 00)

Chair: Hirokazu Sakamoto (Osaka Metropolitan University)
Shunsuke Miyamoto (Kitasato University)

- IS-106 Challenges in Managing Congenital Vallecular Cysts: Diagnosis, Surgery, and Outcomes
Mohammad Zahir Mohd Sabri (Universiti Sains Malaysia Health Campus, Kota Bharu, Malaysia)
- IS-107 How We Salvage the Difficult Airway in Laryngeal Atresia/Tracheal Agensis
Yi-Hao Lee (MacKay Memorial Hospital, Taipei, Taiwan)
- IS-108 Clinical assessment of laryngomalacia and the role of laryngeal ultrasound
Azliana Aziz (Universiti Sains Malaysia Health Campus, Kota Bharu, Malaysia)
- IS-109 Paediatric tracheostomy and its effect on parental mental health status
Zuraini Mohammad Nasir (Universiti Putra Malaysia, Serdang, Malaysia)
- IS-110 Comparative Evaluation of FNPLS with Laryngeal Ultrasound for Assessment of Pediatric Dysphonia
Athierah Binti Muhammad (International Islamic University of Malaysia, Kuantan, Malaysia)

第9会場 (4F G414+G415)

International Session 20 Nasal Diseases 1

(8 : 00 ~ 9 : 00)

Chair: Manabu Nonaka (Tokyo Women's Medical University)
Kenji Dejima (Kyoto Tanabe Central Hospital)

- IS-111 A case of inoperable HPV-related multiphenotypic sinonasal carcinoma well-responded to radiotherapy
Kohei Yoshimura (Mie University)
- IS-112 Study of non-invasive fungal rhinosinusitis in the Japanese population
Kentaro Mori (Shinshu University)
- IS-113 The role of complement component 3 in regeneration of olfactory receptor neurons
Hideki Sakatani (Wakayama Medical University)
- IS-114 Histological analysis of hypertrophied adenoids focusing on the effect of nasal spray steroids
Kosuke Tochigi (Dokkyo Medical University Saitama Medical Center)
- IS-115 Human umbilical mesenchymal stem cells improve olfactory dysfunction after chronic rhinosinusitis
Chien-Fu Yeh (Taipei Veterans General Hospital, Taipei, Taiwan)
- IS-116 Clinical utility of Th2-related biomarkers for local allergic rhinitis: A meta-analysis
Minh Phuoc Hoang (Hue University, Hue, Vietnam)

International Session 21 Nasal Diseases 2

(9 : 00 ~ 9 : 50)

Chair: Shu Kikuta (Nihon University)
Takeshi Tsuda (The University of Osaka)

- IS-117 A clinical comparative study of an outpatient treatment group for maxillary sinus fungus ball.
Tessei Kuruma (Aichi Medical University Hospital)
- IS-118 Sinonasal Oncocytic Papilloma: Clinical Features, Surgery, and Outcomes from a Single-Center Series
Yen-an Chen (Taipei Veterans General Hospital, Taipei, Taiwan)
- IS-119 Bilastine for the treatment of allergic rhinitis: A Systematic Review and Meta-analysis
Aranjit Singh Randhawa (Universiti Sains Malaysia, Kelantan, Malaysia)
- IS-120 Comparison of Sampling Methods for Assessment of Endotype in Chronic Rhinosinusitis (CRS) Patients
Steven Chun-Kang Liao (Northwestern University Feinberg School of Medicine, Chicago, Illinois, USA)
- IS-121 Olfactory cleft and middle meatus biomarkers predict post-surgical outcomes in CRS patients
Brooke N Gleason (Northwestern University Feinberg School of Medicine, Chicago, IL, USA)

International Session 22 Audiology 2

(9 : 50 ~ 10 : 30)

Chair: Takayuki Okano (Fujita Health University, Bantane Hospital)
Takeshi Fujita (Kobe University)

- IS-122 The effect of living alone on hearing performance and the efficacy of hearing aid usage
Yurino Nagata (Gunma University)
- IS-123 Psychiatric comorbidity in patients with tinnitus or auditory hallucination and sleep evaluation
Kensuke Kiyomizu (Yoshida Hospital)
- IS-124 Efficacy of Cochlear Implantation in Cochlear Nerve Deficiency Children-A Single Center Study
Huy Thanh Pham (Ear Nose and Throat Hospital, Ho Chi Minh, Vietnam)
- IS-125 Revision Cochlear Implantation in Baghdad Medical City: A Retrospective Study
Mohammed Wajdi Ibrahim (Ministry of Health in Iraq, Kirkuk, Iraq)

International Session 23 Malignant Tumors 2

(15 : 20 ~ 16 : 20)

Chair: Tsutomu Ueda (Hiroshima University)
Hideaki Takahashi (National Cancer Center Hospital)

- IS-126 Clinical performance of a prefabricated immunofluorescence assay for nasopharyngeal cancer screening
Vanessa Chen (National University of Singapore, Singapore, Singapore)
- IS-127 Auditory and Vestibular Outcomes in Nasopharyngeal Carcinoma: Proton vs. Arc Therapy
Kuang-Hsu Lien (Chang Gung Memorial Hospital, Linkou Branch, Taoyuan, Taiwan)
- IS-128 Efficacy of Salivary Ductal Irrigation in Head Neck Cancer Patients with Post-Irradiation Xerostomia
Yen-Chun Chen (Taipei Medical University, Taipei, Taiwan)
- IS-129 When treatment kills; A case of Radiation-Induced Sarcoma
Monisha K Ramamurthy (Universiti Sains Malaysia, Kubang Kerian, Malaysia)
- IS-130 Primary Paraglottic Space Tumors-A Case Report and Scoping Review
Chenlu Zhai (Tan Tock Seng Hospital, Singapore, Singapore)
- IS-131 Extranodal High-grade B-cell lymphoma (HGBCL): A rare presentation
Nur Jannah Isdeehar Salahuddin (Universiti Sains Malaysia (USM), Kelantan, Malaysia)

International Session 24 Malignant Tumors 3

(16 : 20 ~ 17 : 20)

Chair: Hiroyuki Ozawa (Keio University)
Kensuke Suzuki (Kansai Medical University)

- IS-132 Risk Factor Analysis for Postoperative Recurrent Laryngeal Nerve Paralysis in Thyroid Cancer Surgery
Go Ogawa (Saitama Medical University International Medical Center)
- IS-133 Long-Term Cardiovascular Complications in T1-T2 Oropharyngeal Cancer: Surgery vs. (Chemo) Radiation
Yu-Ru Lin (Chung Shan Medical University, Taichung, Taiwan)
- IS-134 Associations between immune-mediated diseases (IMDs) and the risk of oropharyngeal cancer
Lan Feng (Sichuan University, Chengdu, Sichuan, China)
- IS-135 Swallowing Outcomes in Oral Tongue Squamous Cell Carcinoma: Upfront Brachytherapy versus Surgery
Kai Ping Ong (Universiti Sains Malaysia (USM), Kubang Kerian, Kelantan, Malaysia)
- IS-136 The prognostic value of worst pattern of invasion-5 on low-risk and early-stage oral tongue cancer
Ming-Hsien Tsai (Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital, Kaohsiung, Taiwan)
- IS-137 Lingual Lymph Nodes in Tongue Cancer: Implications for Compartmental Tongue Resection
Linh Ngoc Tuong Tran (Ho Chi Minh University of Medicine and Pharmacy, Ho Chi Minh, Vietnam)

International Session 25 Equilibrium Research 2

(17 : 20 ~ 18 : 00)

Chair: Izumi Koizuka (St. Marianna University)
Yasuyuki Nomura (Nihon Univesity)

- IS-138 Augmentation therapy with aripiprazole for refractory vertigo including PPPD
Fumiya Goto (Tokai University)
- IS-139 Effectiveness of betahistine in residual dizziness for posterior canal BPPV, a double-blind RCT
Kaveorn Patanasukit (Thammasat University, Pathumthani, Thailand)
- IS-140 Serum Otolin-1 and Vitamin D: Are They Reliable Early Outcome Indicators after Treatment of BPPV?
Siravich Soontornchaiya (Phayao University, Phayao, Thailand)
- IS-141 Impact of Onset Age on Meniere's Disease Outcomes
Nur Shazmine Binti Augus Salim (Hospital Kuala Lumpur, Kuala Lumpur, Malaysia)

第10会場 (2F G215)

International Session 26 Imaging and Medical Economics (8 : 00 ~ 9 : 00)

Chair: Kayoko Kawashima (Osaka Habikino Medical Center)
Yorihisa Imanishi (International University of Health and Welfare)

- IS-142 Accessory Infraorbital Foramen: Presence and Localization Relative to Adjacent Structures on CT.
Le Ngoc Phu (An Binh Hospital, Ho Chi Minh, Vietnam)
- IS-143 Radioanatomical Analysis of Vidian Canal and Its Relationship to Surrounding Structures
Iu Tong Lim (Universiti Sains Malaysia, Kubang Kerian, Kelantan, Malaysia)
- IS-144 The application of sialendoscopy in patients with recurrent sialoadenitis with ductal stenosis
Chien-Chung Wang (I-shou University, Kaohsiung, Taiwan)
- IS-145 From Pipes to Pixels: Innovating through Necessity and Collaboration
Bigyan Raj Gyawali (Tribhuvan University, Kathmandu, Nepal)
- IS-146 Addressing Inequities in Pediatric Cancer Treatment: A Health Economics Perspective from Indonesia
Pisi Bethania Titalessy (Universitas Cenderawasih, Jayapura, Indonesia)
- IS-147 Bacteriology and antibiotic resistance in pediatric rhinosinusitis in Viet Nam
Huong Thi Le (Thanh Hoa Campus of Ha Noi Medical University, Thanh Hoa, Vietnam)

International Session 27 Middle Ear and Eustachian Tube (9 : 00 ~ 9 : 50)

Chair: Takeshi Oshima (Nihon University)
Ryoukichi Ikeda (Iwate Medical University)

- IS-148 Analysis of 11 cases of Intra-Temporal Facial Nerve Schwannoma with Surgery in the last 3 years
Makoto Hosoya (Keio University)
- IS-149 Two cases conducted a clade classification for Candida auris detected in serous otorrhea
Akiko Inoue (Toho University)
- IS-150 Intracranial complications of acute mastoiditis
Senri Omata (Fukushima Medical University)
- IS-151 The Role of Sonotubometry in Assessing Paediatric Eustachian Tube Balloon Dilation (ETBD)
Syiao Wei Ng (University of Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia)
- IS-152 Balloon Dilatation Outcome in Irradiated vs Non-Irradiated Patients with Eustachian Tube Dysfunction
Boon Han Kevin Ng (University Malaysia Sarawak, Kuching, Malaysia)

International Session 28 Miscellaneous (9 : 50 ~ 10 : 40)

Chair: Takuro Kitamura (University of Occupational and Environmental Health)
Hirofumi Shibata (Gifu University)

- IS-153 Coblation Tonsillectomy: Our experience how to tame the Werewolf
Khairullah Anuar (Universiti Sains Islam Malaysia, Nilai, Malaysia)
- IS-154 Assessing Cognitive Impairment and Adult Obstructive Sleep Apnea using Montreal Cognitive Assessment
Pui Mun Yee (International Islamic University Malaysia, Kuantan, Malaysia)
- IS-155 Preliminary Results in Neck Wound Management
Giang Kim Long Pham (Cho Ray Hospital, Ho Chi Minh City, Vietnam)
- IS-156 Cosmetic incision for parotidectomy (no visible incision mark) compared to other incision
Dewan Mahmud Hasan (Bangladesh Specialized Hospital, Dhaka, Bangladesh)
- IS-157 A case series on arrow injuries in the head and neck region of Bhutanese archers
Umesh Pradhan (JDW National Referral Hospital, Thimphu, Bhutan)

学術会場 3日目 5月30日(金)／May 30 (Fri)

第8会場 (3F G318+G319)

International Session 29 AI

(8:00～9:00)

Chair: Seiichi Yoshimoto (National Cancer Center Hospital)
Tetsuji Sanuki (Nagoya City University East Medical Center)

- IS-158 The Birmingham AI Approach: A Novel Simultaneous Anterior-Lateral Approach to Petroclival Lesions
Asiya Kamber Zaidi (University Hospitals Birmingham NHS Foundation Trust, Birmingham, United Kingdom)
- IS-159 Deep learning-based computer-aided diagnosis for parotid gland tumors on magnetic resonance
imaging Yuki Irifune (Ehime University)
- IS-160 Improving Endoscopic Diagnosis Accuracy for Nasopharyngeal Carcinoma Using Transfer Learning
Yen-Ting Lu (St. Martin De Porres Hospital, ChiaYi, Taiwan)
- IS-161 AI-Driven Prediction of Cranial Nerve Injury in Head and Neck Cancer Using PET/CT and Dose Maps
Rifaldy Fajar (Yogyakarta State University, Sleman, Indonesia)
- IS-162 Predicting Second Primary Occurrence in Head Neck Cancer with Explainable Artificial Intelligence
Tsung Che Yu (WanFang Hospital, Taipei, Taiwan)
- IS-163 Deep Learning Framework for Predicting Radiation-Induced Dysphagia in Head and Neck Cancer
Prihantini Prihantini (Bandung Institute of Technology, Bandung, Indonesia)

International Session 30 Otology-Tumors

(9:00～9:50)

Chair: Atsunobu Tsunoda (Juntendo University, Nerima Hospital)
Naoki Oishi (Keio University)

- IS-164 A Case of Adenoid Cystic Carcinoma in the External Auditory Canal
Hiroaki Magata (Kumamoto University)
- IS-165 Giant cell tumor of the temporal bone treated with surgery and adjuvant denosumab
Hiroshi Sakaida (Mie University)
- IS-166 Canal Plasty for Exostoses of the Ear Canal Haruka Nakanishi (Oiki ENT Surgi Clinic)
- IS-167 Ossifying Fibroma in an Unusual Site: Case Report and Challenges in the External Auditory Canal
Amirah Sufian (Universiti Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia)
- IS-168 When Benign Mimics Malignant: Nodular Fasciitis of the Pinna in a Young Adult
Nurfariissa Hussin (Universiti Putra Malaysia, Selangor, Malaysia)

第9会場 (4F G414+G415)

International Session 31 **Otology-Examination and Research** (8 : 00 ~ 8 : 50)

Chair: Shin Kariya (Kawasaki Medical School)
Nozomu Matsumoto (Kyushu University)

- IS-169 Surgery to Treat Cancer of the Ear and Temporal Bone at a Tertiary Hospital in Vietnam
Viet Trung Pham (Cho Ray Hospital, Ho Chi Minh City, Vietnam)
- IS-170 The decline of whole-blood NAD⁺ level is correlated to the developing age-related hearing loss
Ken Hayashi (Kawagoe Ear Institute)
- IS-171 Affinity purification of the outer hair cell motor protein prestin using His-tag
Manabu Inaba (Kanazawa University)
- IS-172 Basic fibroblast growth factor helps protect facial nerve cells in a freeze-induced paralysis model
Shinji Iwata (Ehime Prefectural Niihama Hospital)
- IS-173 Correlation Between Vestibular Test Abnormalities and Hearing Loss Severity in Meniere's Disease
Noor Raihan Binti Abdul Mutalib (Hospital Kuala Lumpur, Kuala Lumpur, Malaysia)

International Session 32 **HPV** (8 : 50 ~ 9 : 40)

Chair: Hiroyuki Maeda (Ryuky University)
Daisuke Sano (Yokohama City University)

- IS-174 p16 Overexpression in sinonasal squamous cell carcinoma
Hitoshi Hirakawa (University of the Ryukyus)
- IS-175 HPV related Multi-phenotypic Sinonasal Carcinoma
Ryan Lee (Woodlands Health, Singapore, Singapore)
- IS-176 HPV Vaccination and Protective Effect on Head and Neck Cancers: Large-Scale Real-World Cohort Study
Ching-Nung Wu (Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital and Chang Gung University College of Medicine, Kaohsiung, Taiwan)
- IS-177 Differential association of statins with head and neck cancer survival by HPV status
Danni Cheng (West China Hospital, Sichuan University, Chengdu, China)
- IS-178 Withdrawn

International Session 33 **Broncho-esophagology and Larynx** (9 : 40 ~ 10 : 40)

Chair: Taku Yamashita (Kitasato University)
Katsunori Katagiri (Iwate Medical University)

- IS-179 Effects of the Blue Laser and the KTP Laser-Using the Shell-less Chick Amnioallantoic Membrane Model
Ying-Ta Lai (Taipei Medical University, New Taipei City, Taiwan)
- IS-180 The Effects of the Micronized Amniotic Tissue on Chorioallantoic Membrane after Laser Application
Hsin Hao Liou (Taipei Medical University, New Taipei City, Taiwan)
- IS-181 Outcomes of CO2 laser assisted unilateral cordotomy in patients with Bilateral Vocal Fold Paralysis
Thi Ri (University of Medicine 2, Yangon, Myanmar)
- IS-182 Laryngotracheal Stenosis in Vietnamese Adults: A Five-Year Management Review in a Developing Country
Hung The Bui (University of Medicine and Pharmacy at Ho Chi Minh City, Ho Chi Minh, Vietnam)
- IS-183 Evaluating Surgical Outcomes of End-to-End Anastomosis for Tracheal Stenosis
Dung Ba Hoang (Cho Ray Hospital, Ho Chi Minh City, Vietnam)
- IS-184 Bilateral combined laryngocele: Comprehensive review of the literature
Ahmad Naser Alkheder (Damascus University, Damascus, Syria)

XVII 一般口演

学術講演 1日目 5月28日(水)

第5会場 (4F G403)

第 1 群 めまい平衡 1 (9:00~9:50)

座長: 長沼 英明 (北里大学) 五島 史行 (東海大学)

- | | | | |
|-------|---|-------|----------|
| 0-001 | 持続性知覚性姿勢誘発めまいの治療効果の向上を目指して | 實川純人 | (札幌医科大学) |
| 0-002 | めまいを引き起こす先行疾患を伴わずに持続性知覚性姿勢誘発めまい様の症状を呈する患者群の検討 | 緒方尚子 | (東京大学) |
| 0-003 | 私が行っている外リンパ瘻の診断と手術 | 永井知幸 | (古賀総合病院) |
| 0-004 | 診断に苦慮した多彩な症候のめまいの1例 | 瀧上 駿 | (日本大学) |
| 0-005 | めまいで発症した橋梗塞・悪性リンパ腫の一例 | 亀井優嘉里 | (大阪公立大学) |

第 2 群 聴覚 (9:50~10:40)

座長: 高橋真理子 (名古屋市立大学みらい光生病院) 南 修司郎 (東京医療センター)

- | | | | |
|-------|--|------|----------------|
| 0-006 | 耳鼻科クリニックの難聴医療において見落としは
いけない問題点(第2報) | 南谷隆明 | (いづみきこえのクリニック) |
| 0-007 | 聞き取り困難症(LiD)の現状と展望 | 阪本浩一 | (大阪公立大学) |
| 0-008 | 脳脊髄液漏出症を合併した機能的難聴の検討 | 山崎宗治 | (東北医科薬科大学) |
| 0-009 | 聴覚障害当事者による聴覚障害者就労・就労継続支援に関するチェックリストの検証 | 菅谷明子 | (岡山大学) |
| 0-010 | 小児期に難聴がある人工内耳装用者の大学進学状況 | 佐藤智生 | (長崎大学) |

第 3 群 喉頭気管 1 (14:50~15:40)

座長: 福島 啓文 (昭和医科大学) 三枝 英人 (東京女子医科大学八千代医療センター)

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|-----------|
| 0-011 | 他院での輪状軟骨開窓術後に合併症をきたし当科を受診した症例の検討 | 山本陵太 | (福岡山王病院) |
| 0-012 | 気管狭窄に対し気管切開孔から挿管チューブを留置し、気道確保をし得た一例 | 井手健太 | (足利赤十字病院) |
| 0-013 | 難治性の挿管後気管狭窄に対して気管管状切除術が奏効した1例 | 小出彩華 | (千葉大学) |
| 0-014 | 両側反回神経の再建による気道狭窄をきたした2例 | 松島康二 | (東邦大学) |
| 0-015 | 喉頭に沈着したアミロイドーシスの1例 | 前田泰規 | (日本大学) |

第 4 群 咽頭

(15:40~16:50)

座長：渡辺 哲生（大分大学）大堀純一郎（鹿児島大学）

- | | | | |
|-------|---|------|---------------|
| 0-016 | 当院における外視鏡 ORBEYE を用いた口蓋扁桃摘出術に関する検討 | 両角遼太 | （徳島大学） |
| 0-017 | 当院での扁桃摘出術における BiZact 導入前後における比較検討 | 中村宏舞 | （愛知医科大学） |
| 0-018 | 前・後口蓋弓粘膜を最大限に温存することで創傷治癒を促進する口蓋扁桃摘出術 | 関口昌孝 | （総合病院国保旭中央病院） |
| 0-019 | 優しい扁桃摘出に向けて 硬性鏡併用下の指導体制と先行止血による口蓋扁桃摘出術の合併症軽減効果の検討 | 太田春佳 | （岩手県立磐井病院） |
| 0-020 | 当科における全身麻酔下咽喉頭異物摘出例の検討 | 川北憲人 | （滋賀医科大学） |
| 0-021 | 異なる治療を行った外傷性咽頭後間隙血腫の3例 | 堀 倫也 | （大垣市民病院） |
| 0-022 | 当科における咽頭外傷症例の臨床的検討 | 榊 和哉 | （福岡大学） |

第 5 群 喉頭気管2

(16:50~18:00)

座長：本橋 玲（東京医科大学）松崎 洋海（日本大学）

- | | | | |
|-------|--------------------------------|------|------------------------|
| 0-023 | 喉頭癌喉頭全摘後における咽頭瘻孔発生要因の検討 | 小野剛治 | （久留米大学） |
| 0-024 | 当科における喉頭乳頭腫の臨床的検討 | 竹内正憲 | （神戸大学） |
| 0-025 | 当院で施行した気管切開術症例115例の検討 | 弓田健斗 | （佐野厚生総合病院） |
| 0-026 | 再発性多発軟骨炎20例の臨床検討 | 水野亜紀 | （横浜市立大学） |
| 0-027 | 側弯を伴う重症心身障害児者における気管切開術後長期経過の検討 | 孔 憲和 | （長岡赤十字病院） |
| 0-028 | 輪状軟骨切開術の曲率半径の検討 | 稲木香苗 | （足利赤十字病院） |
| 0-029 | 蘇生に成功した心停止後の気管切開術症例の検討 | 西村文吾 | （茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター） |

第6会場 (4F G404)

第 6 群 顔面神経

(9:00~9:40)

座長：東海林 史（東北医科薬科大学若林病院）江崎 伸一（名古屋市立大学）

- | | | | |
|-------|---------------------------------|------|----------|
| 0-030 | キヌタ・アブミ関節のみを離断する顔面神経減荷術の術後聴力 | 橋本 研 | （自治医科大学） |
| 0-031 | 顔面神経麻痺後遺症に取り組む当科顔面神経外来受診例の特徴と検討 | 東 貴弘 | （徳島大学） |
| 0-032 | 重症顔面神経麻痺症例における造影 MRI 所見と予後との関連 | 佐藤 崇 | （大阪大学） |
| 0-033 | 側頭骨 CT による Arnold's 神経の走行に関する解析 | 鈴木万達 | （岩手医科大学） |

第 7 群 ECRS

(9:40~10:40)

座長：鈴木 祐輔（青山みみ・はな・のどクリニック）館野 宏彦（富山大学）

- | | | | |
|-------|---|-------|------------------|
| 0-034 | 好酸球性副鼻腔炎から好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）を発症した3例の検討 | 大塚康司 | （山王病院） |
| 0-035 | 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎患者における好酸球性疾患の合併 | 村井 綾 | （岡山大学） |
| 0-036 | 喘息と COPD オーバーラップ（ACO）を合併する慢性鼻副鼻腔炎（CRS）におけるニトロ化ストレスと代謝酵素 | 徳永修也 | （東京女子医科大学） |
| 0-037 | 慢性副鼻腔炎の環境的要因 | 平位知久 | （県立広島病院） |
| 0-038 | 肺移植患者における副鼻腔炎の検討 | 秋田貴紀 | （東京大学） |
| 0-039 | 慢性鼻副鼻腔炎病態に真菌感作が及ぼす影響に関する検討 | 井上なつき | （東邦大学医療センター大橋病院） |

第 8 群 甲状腺1

(14:50~15:40)

座長：森谷 季吉（淡海医療センター）福原 隆宏（自治医科大学）

- | | | | |
|-------|--------------------------------------|------|------------|
| 0-040 | 当院における甲状腺癌外照射症例の検討 | 黒石真穂 | （神戸大学） |
| 0-041 | 甲状腺乳頭癌の患側 Vb 郭清の省略についての検討 | 牛呂幸司 | （京都医療センター） |
| 0-042 | 整容性に配慮した縦隔浸潤甲状腺癌に対する縦隔郭清術の検討 | 横山純吉 | （名戸ヶ谷病院） |
| 0-043 | バセドウ病に対する甲状腺全摘出術の臨床的検討 | 太田伸男 | （東北医科薬科大学） |
| 0-044 | 外科的治療を行った Marine-Lenhart 症候群と考えられた一例 | 斉原衣里 | （市立四日市病院） |

第 9 群 甲状腺2

(15:40~16:40)

座長：門田 伸也（四国がんセンター） 岡田 晋一（静岡県立静岡がんセンター）

- | | | | |
|-------|--|------|--------------|
| 0-045 | 当初甲状腺癌が疑われた甲状腺内胸腺癌の一例 | 佐藤克海 | （東北医科薬科大学） |
| 0-046 | 甲状腺原発 DLBCL の3例 | 三好健太 | （香川労災病院） |
| 0-047 | 放射線治療中に BRAF/MEK 阻害薬を併用し奏功した甲状腺癌頸部再発例 | 辻 拓也 | （京都桂病院） |
| 0-048 | 甲状腺未分化癌に対しレンパチニブ療法を行った5症例についての治療成績と安全性 | 伊東和恵 | （宮城県立がんセンター） |
| 0-049 | 甲状腺髄様癌に対する分子標的薬の使用経験 | 友田智哲 | （伊藤病院） |
| 0-050 | Lenvatinib 療法中に縦隔気管瘻孔を認めた甲状腺未分化癌の1例 | 川本健介 | （福岡大学） |

第 10 群 めまい平衡検査

(16:40~17:50)

座長：小川 恭生（東京医科大学八王子医療センター）

穂吉 亮平（獨協医科大学埼玉医療センター）

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------------|
| 0-051 | 聴神経腫瘍以外の小脳橋角部腫瘍における video Head Impulse Test を用いた術前後の平衡機能評価 | 藤原圭志 | （北海道大学） |
| 0-052 | 深層学習とオプティカルフローを用いた眼球運動の三次元解析手法の確立 | 溝口由丸 | （東京科学大学） |
| 0-053 | VR ゴーグルによる VOG 検査導入での業務改善について | 山戸章行 | （市立吹田市民病院） |
| 0-054 | 高齢者のふらつきと不安定な歩行は前庭障害、筋機能障害、睡眠障害に関連する | 池田勝久 | （順天堂大学東京江東高齢者医療センター） |
| 0-055 | 両側前庭機能障害症例の重症度に影響を与える因子について | 蒲谷嘉代子 | （名古屋市立大学） |
| 0-056 | クリニックでの難治性めまい患者に対する TPAD 治療の即時効果と繰り返し効果の検討 | 和田佳郎 | （和田耳鼻咽喉科医院） |
| 0-057 | 脳振盪後の平衡障害対策を目的としたデフサッカー選手の平衡機能実態調査 | 角田玲子 | （目白大学耳科学研究所クリニック） |

第7会場 (3F G316+G317)

第 11 群 アレルギー性鼻炎

(9:00～9:50)

座長：米倉 修二 (千葉大学) 松本 晃治 (滋賀医科大学)

- | | | | |
|-------|---|-------|----------------|
| 0-058 | スギ花粉舌下免疫療法の効果持続の検証 | 濱田聡子 | (関西医科大学香里病院) |
| 0-059 | スギ舌下免疫治療経過中の特異的 IgE 抗体変動は他の花粉抗原で同調するが、通年抗原では変化しない | 湯田厚司 | (ゆたクリニック) |
| 0-060 | 舌下免疫療法長期継続症例の検討 | 川島佳代子 | (大阪はびきの医療センター) |
| 0-061 | シラカンバによる花粉—食物アレルギー—症状群と診断した豆乳アレルギーの5例 | 本間あや | (北海道大学) |
| 0-062 | 小中学生におけるピワによるアレルギー—症状—に関するアンケート調査 | 島村歩美 | (山梨大学) |

第 12 群 先天奇形・ダウン症

(9:50～10:40)

座長：大津 雅秀 (兵庫県立こども病院)

石丸 純子 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|--------|------------------|
| 0-063 | 先天性後鼻孔閉鎖症31例の背景疾患と臨床経過 | 今村香葉子 | (国立成育医療研究センター) |
| 0-064 | 気管切開を行った CHARGE 症候群の長期経過 | 鈴木法臣 | (国立成育医療研究センター) |
| 0-065 | 当科で治療した口蓋裂術後残遺孔に対する有茎鼻中隔粘膜弁による閉鎖術症例 | 田中秀峰 | (筑波大学) |
| 0-066 | ダウン症患児に RAMPA セラピーを用いた一症例 | 小嶋岡井有子 | (こどもと女性の歯科クリニック) |
| 0-067 | RAMPA 療法を受けたダウン症候群患児の呼吸症状の改善 | 小嶋岡井有子 | (こどもと女性の歯科クリニック) |

第11会場 (2F G216)

第 13 群 補装具

(9:00~10:00)

座長：西村 忠己（奈良県立医科大学） 太田 有美（大阪医療センター）

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------|
| 0-068 | ヒアラブルデバイスを用いた聴力測定に関する検討 | 佐々木彩花 | （済生会宇都宮病院） |
| 0-069 | 高精細音響技術を用いたリハビリテーションにおける雑音下言語聴取能改善効果と事象関連電位との関連性 | 石野岳志 | （広島大学） |
| 0-070 | 心因性難聴に対する補聴器の有用性 | 柴田章帆 | （国際医療福祉大学成田病院） |
| 0-071 | 当院補聴器外来における補聴器長期装用患者の日常生活での補聴効果に関する検討 | 布施慈光 | （けいゆう病院） |
| 0-072 | 奈良医大の軟骨伝導補聴器についての紹介患者の動向 | 岡安 唯 | （奈良県立医科大学） |
| 0-073 | 診療所で行った8年間の補聴器外来の経験 | 水川知子 | （みずかわ耳鼻咽喉科医院） |

第 14 群 耳・腫瘍1

(10:00~10:40)

座長：西村 幸司（京都大学） 小宗 徳孝（九州大学）

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|------|----------|
| 0-074 | TEES で切除を行った耳管内唾液腺分離腫の1例 | 三橋亮太 | （聖マリア病院） |
| 0-075 | 当科で経験した側頭骨巨細胞腫瘍の一例 | 三谷彰俊 | （関西医科大学） |
| 0-076 | 中耳粘膜に認めたメラノサイトーシスの一例 | 高橋和樹 | （筑波大学） |
| 0-077 | 著明な骨浸潤を呈した側頭骨 epidermoid cyst（真珠腫）の2例 | 中村 雄 | （宮崎大学） |

第 15 群 鼓膜再生療法

(14:50~16:00)

座長：楠 威志（順天堂大学） 小田桐恭子（東海大学）

- | | | | |
|-------|---------------------------------|-------|--------------------|
| 0-078 | リティンパによる鼓膜再生療法：穿孔閉鎖率向上のための戦略 | 日高浩史 | （関西医科大学） |
| 0-079 | 当科におけるリティンパを用いた鼓膜再生療法の経験 | 河口倫太郎 | （産業医科大学） |
| 0-080 | bFGF 製剤（リティンパ®）による鼓膜穿孔閉鎖の長期成績 | 高橋優宏 | （国際医療福祉大学三田病院） |
| 0-081 | 中耳手術既往歴を有する鼓膜穿孔に対する鼓膜再生療法の効果 | 山本典生 | （神戸市立医療センター中央市民病院） |
| 0-082 | 慢性中耳炎に対する鼓膜再生療法と鼓室形成術／鼓膜形成術との比較 | 金丸眞一 | （北野病院） |
| 0-083 | 当院にて両側鼓膜再生療法を施行した症例の検討 | 白井良宜 | （北野病院） |
| 0-084 | 高齢化社会における鼓膜再生療法の有用性 | 金井理絵 | （北野病院） |

第 16 群 鼻副鼻腔腫瘍

(16:00~17:00)

座長：花澤 豊行（千葉大学） 牧原靖一郎（岡山大学）

- | | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|----------|
| 0-085 | 小児の鼻副鼻腔に発生した骨形成性線維腫の5例 | 大野貴史 | （東京科学大学） |
| 0-086 | 当科で治療を行った鼻副鼻腔未分化癌ステージⅣの3例 | 戸嶋一郎 | （滋賀医科大学） |
| 0-087 | 鼻副鼻腔癌に対する TPF 併用化学放射線療法についての検討 | 登米 慧 | （東北大学） |
| 0-088 | 当科における鼻副鼻腔悪性黒色腫の臨床的検討 | 平野美聡 | （千葉大学） |
| 0-089 | 超選択的シスプラチン動注化学放射線療法における腎機能障害の検討 | 藤本将平 | （岡山大学） |
| 0-090 | 当科における上顎洞扁平上皮癌に対する超選択的動注化学放射線療法の臨床検討 | 中沢僚太郎 | （金沢大学） |

第 17 群 鼻副鼻腔手術

(17:00~18:10)

座長：中川 隆之（京都大学） 尹 泰貴（ゆん耳鼻咽喉科）

- | | | | |
|-------|--|-------|------------------|
| 0-091 | 新たな下鼻甲介剪刀の試み | 太田 康 | （東邦大学医療センター佐倉病院） |
| 0-092 | Septal swing graft による鼻中隔上弯矯正を行った症例 | 飯村慈朗 | （東京歯科大学市川総合病院） |
| 0-093 | 当科で行っている CRSwNP の嗅裂病変に対する手術手技 | 亀田央純 | （島根大学） |
| 0-094 | Endoscopic modified medial maxillectomy 施行例における前上歯槽神経の走行と術後症状の関係 | 芦田直毅 | （JCHO 大阪病院） |
| 0-095 | 重症好酸球性副鼻腔炎に対する内視鏡下副鼻腔手術—篩骨洞・前頭洞拡大手術の意義と適用— | 比野平恭之 | （神尾記念病院） |
| 0-096 | 好酸球性鼻副鼻腔炎の重症度と術後追加治療の関連性 | 齋藤孝博 | （兵庫医科大学） |
| 0-097 | 鼻腔抵抗値と SNOT-22 の背景因子の検討 | 金田将治 | （東海大学） |

学術講演 2日目 5月29日(木)

第5会場 (4F G403)

第 18 群 甲状腺・副甲状腺

(8:00~9:00)

座長：藤井 隆（大阪国際がんセンター） 三谷 浩樹（がん研有明病院）

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------|
| 0-098 | バセドウ病に乳頭癌、髄様癌を合併した1例 | 樋口雅大 | （香川大学） |
| 0-099 | Basedow 病術後に Hungry bone syndrome をきたした2症例 | 川崎泰士 | （静岡赤十字病院） |
| 0-100 | 術後に濾胞癌由来未分化癌と診断された toxic multinodular goiter (TMNG/中毒性多結節性甲状腺腫) 症例 | 武田宜高 | （国際医療福祉大学成田病院） |
| 0-101 | 甲状腺内副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症の4症例 | 三根実穂子 | （高知大学） |
| 0-102 | 副甲状腺癌が疑われた副甲状腺腺腫の1例 | 徳永佳奈 | （久留米大学） |
| 0-103 | 術前の穿刺吸引液の PTH 測定が診断に有用であった副甲状腺腫瘍の1例 | 岡崎由利子 | （小牧市民病院） |

第 19 群 甲状腺手術

(9:00~9:50)

座長：辻 裕之（浅ノ川総合病院） 若崎 高裕（近畿大学）

- | | | | |
|-------|--|------|--------------|
| 0-104 | 術前声帯麻痺が無いにもかかわらず、術中反回神経を合併切除せざるを得なかった症例の検討 | 寺尾孟将 | （熊本大学） |
| 0-105 | 単一施設における甲状腺良性腫瘍に対する内視鏡補助下手術と外切開手術の5年間の比較 | 大原賢三 | （旭川医科大学） |
| 0-106 | 当院における甲状腺内視鏡手術の現況と展望 | 永井遼斗 | （東京都済生会中央病院） |
| 0-107 | バセドウ病における通常手術、VANS 法の比較検討 | 能田拓也 | （金沢医科大学） |
| 0-108 | 甲状腺内視鏡手術の低難度化への試み、技術認定医取得へ向けて | 黒瀬 誠 | （札幌医科大学） |

第 20 群 頭頸部基礎

(9:50~10:40)

座長：西野 宏（自治医科大学） 石永 一（三重大学）

- | | | | |
|-------|---|------|-------------|
| 0-109 | 舌再生治療の開発に向けた舌切除モデルの構築 | 福田伸樹 | （東京慈恵会医科大学） |
| 0-110 | 頭頸部がん微小環境における AEBP1 の機能解析 | 萬 顕 | （札幌医科大学） |
| 0-111 | 頭頸部発癌疑似モデル細胞における薬剤感受性の検討 | 林 計企 | （大阪大学） |
| 0-112 | 頭頸部癌における ZEB1/ZEB2 の機能解析 | 木内有紗 | （山梨大学） |
| 0-113 | 糖尿病に関連する RAC2 蛋白の発現上昇は咽頭扁平上皮癌の生存率を悪化させる | 緑川 伸 | （八戸市立市民病院） |

第6会場 (4F G404)

第 21 群 頭頸部腫瘍 1

(8:00~9:00)

座長：嶋根 俊和（昭和医科大学）伊藤 伸（順天堂大学浦安病院）

- | | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 0-114 | 持続吸引シリンジ法を併用することで顎下腺を温存できた舌神経由来神経鞘腫の1例 | 島津春香 | （昭和医科大学） |
| 0-115 | 頸部神経鞘腫手術症例に関する多施設共同研究 | 石田宏規 | （京都医療センター） |
| 0-116 | 頭頸部傍神経節腫手術例32例の検討 | 志賀清人 | （岩手医科大学） |
| 0-117 | 日本頭頸部傍神経節腫研究会における症例登録状況と中間報告 | 小澤宏之 | （慶應義塾大学） |
| 0-118 | 当科で手術を行った副咽頭間隙腫瘍の臨床的検討 | 末吉慎太郎 | （久留米大学） |
| 0-119 | 経口的内視鏡手術を行った副咽頭間隙腫瘍の治療経験 | 足立将大 | （筑波大学） |

第 22 群 頭頸部腫瘍 2

(9:00~9:50)

座長：志賀 清人（岩手医科大学）大越 明（東北大学）

- | | | | |
|-------|--------------------------------|------|------------------|
| 0-120 | 口腔底に発生した孤立性線維性腫瘍の1例 | 吉野僚介 | （埼玉医科大学国際医療センター） |
| 0-121 | 難治性咽頭喉頭潰瘍の6例とEBウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍の1例 | 竹田大樹 | （熊本大学） |
| 0-122 | 診断・術後管理に難渋した難治性口腔咽頭潰瘍の1例 | 勝野貴大 | （日本赤十字社医療センター） |
| 0-123 | 口腔白色病変の癌化リスク因子についての検討 | 池田哲也 | （杏林大学） |
| 0-124 | 穿刺吸引細胞診における検体不良の回避について | 久保和彦 | （千鳥橋病院） |

第 23 群 癌薬物療法

(9:50~10:40)

座長：浅田 行紀（宮城県立がんセンター）鈴木 真輔（秋田大学）

- | | | | |
|-------|---|-------|---------------|
| 0-125 | 頭頸部癌治療におけるPCE療法の有用性 | 安松隆治 | （近畿大学） |
| 0-126 | 札幌医科大学における再発転移頭頸部癌に対する薬物療法についての検討 | 小幡和史 | （東海大学） |
| 0-127 | 抗菌薬投与歴のある免疫チェックポイント阻害薬の治療効果の検討 | 金田圭太 | （福岡大学） |
| 0-128 | PembrolizumabによるirAEの治療中に発症したサイトメガロウイルス感染症の1例 | 玉峰歩佳 | （大阪公立大学） |
| 0-129 | 当科におけるペムブロリズマブ投与例の検討 | 古川まどか | （神奈川県立がんセンター） |

第10会場 (2F G215)

第 24 群 耳・基礎

(15:20~16:30)

座長：櫻井 結華（東京慈恵会医科大学） 藤川 太郎（帝京大学溝口病院）

- | | | | |
|-------|---|------|------------------|
| 0-130 | マウスにおける内側膝状体の in vivo 深部神経細胞活動計測 | 穂吉亮平 | （獨協医科大学埼玉医療センター） |
| 0-131 | 連続音負荷時のモルモット第一次聴皮質への影響 | 釧持 睦 | （聖マリアンナ医科大学） |
| 0-132 | CHO 細胞を用いたプレスチン安定発現株の作成とその機能解析 | 元雄良誠 | （金沢大学） |
| 0-133 | 常染色体優性遺伝性感音難聴 1 型（DFNA1）において巨大血小板減少症は難聴発症時期推測に有用か | 倉沢俊光 | （神戸大学） |
| 0-134 | 聴覚入力の喪失が引き起こす神経細胞死の分子メカニズム | 佐藤良祐 | （半田市立半田病院） |
| 0-135 | 透明化手法を用いたマウス内耳血流分布の 3 次元解析 | 熊谷太佑 | （慶應義塾大学） |
| 0-136 | 前庭感覚細胞における酸化ストレス誘導性細胞老化モデルの構築 | 甲田研人 | （東京大学） |

第 25 群 嚥下 1

(16:30~17:20)

座長：中平 光彦（埼玉医科大学国際医療センター） 藤本 保志（愛知医科大学）

- | | | | |
|-------|------------------------------------|-------|---------------------|
| 0-137 | 耳鼻科外来における嚥下障害の対応法の試み～嚥下指導、外来嚥下訓練～ | 西山耕一郎 | （西山耳鼻咽喉科医院） |
| 0-138 | 当院摂食嚥下センターによる療養型病院への摂食嚥下診療の介入効果と課題 | 川上 理 | （金沢医科大学） |
| 0-139 | 嚥下内視鏡検査時における NBI（狭帯域光観察）の有用性 | 友國晃一郎 | （鳥取大学） |
| 0-140 | 誤嚥防止術の適応について | 伊藤裕之 | （東京女子医科大学） |
| 0-141 | 舌運動不全による構音障害、嚥下障害に対する手術による機能改善 | 三枝英人 | （東京女子医科大学八千代医療センター） |

第 26 群 SAS・睡眠

(17:20~18:00)

座長：小森 正博（川崎医科大学） 中島 逸男（獨協医科大学）

- | | | | |
|-------|--|------|------------|
| 0-142 | 舌下神経刺激療法を実施した 4 症例について | 木下 将 | （川崎医科大学） |
| 0-143 | 閉塞性睡眠時無呼吸・CPAP 不耐患者における舌下神経電気刺激療法における術後成績とその治療について | 中田誠一 | （名鉄病院） |
| 0-144 | 就学時検診時に実施した睡眠実態調査 | 兵 行義 | （川崎医科大学） |
| 0-145 | 当院における小児閉塞性睡眠時無呼吸手術症例の検討 | 浅野敬史 | （公立置賜総合病院） |

第11会場 (2F G216)

第 27 群 アレルギー性鼻炎調査

(8:00~9:00)

座長：後藤 穰（日本医科大学多摩永山病院） 春名 威範（兵庫医科大学）

- | | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 0-146 | 青森県弘前市岩木地区における吸入性抗原の感作率の推移 | 高畑淳子 | （弘前大学） |
| 0-147 | 大津市における過去31年間のスギ・ヒノキ花粉飛散状況と今後の展望 | 松本晃治 | （滋賀医科大学） |
| 0-148 | 大分大学医学部におけるスギ花粉総飛散数予測の検討 | 渡辺哲生 | （大分大学） |
| 0-149 | 弘前市における春季・秋季のスギ花粉飛散状況 | 三浦 峻 | （弘前大学） |
| 0-150 | アレルギー性鼻炎における HD and/or デニアレギー有病率の32年間の推移 | 宇佐神 篤 | （東海花粉症研究所） |
| 0-151 | スギ花粉症症状の日内変動について | 松岡伴和 | （山梨大学） |

第 28 群 めまい平衡2

(9:00~9:50)

座長：瀬尾 徹（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院） 高倉 大匡（富山大学）

- | | | | |
|-------|---|--------|------------------|
| 0-152 | 周期性方向交代性眼振を呈したキアリⅡ型奇形症例 | 沖中ヨウスケ | （山口大学） |
| 0-153 | ERでの「めまい・ふらつき」を主訴とする一過性脳虚血発作 | 宇野敦彦 | （大阪急性期・総合医療センター） |
| 0-154 | コロナ禍でのめまい診療を振り返って | 安村佐都紀 | （耳鼻咽喉科安田医院） |
| 0-155 | 地震後めまい症候群（Post Earthquake Dizziness Syndrome; PEDS）のその後 | 野村泰之 | （日本大学） |
| 0-156 | 頭部振動刺激による映像酔い遅延効果の検討 | 高岡 奨 | （徳島大学） |

第 29 群 唾液腺

(9:50~10:40)

座長：河田 了（大阪医科薬科大学） 別府 武（埼玉県立がんセンター）

- | | | | |
|-------|-----------------------------|------|------------|
| 0-157 | 耳下腺浅葉良性腫瘍に対する縮小手術の検討 | 中谷宏章 | （福山医療センター） |
| 0-158 | 耳下腺唾石症手術に術中 CT を用いた一例 | 藤井健太 | （産業医科大学） |
| 0-159 | 舌下腺摘出術を施行したガン腫症例 | 稲井俊太 | （東京女子医科大学） |
| 0-160 | 外視鏡 ORBEYE を用いた耳下腺部分切除術例の検討 | 八木正夫 | （関西医科大学） |
| 0-161 | ノモグラムを用いた耳下腺ワルチン腫瘍の鑑別方法 | 九鬼伴樹 | （藤田医科大学） |

第 30 群 唾液腺癌 1

(15:20~16:00)

座長：星川 広史（香川大学） 鈴木 秀典（愛知県がんセンター）

- | | | | |
|-------|---|------|------------|
| 0-162 | 耳下腺深部原発 NUT carcinoma の 1 例 | 大澤 悠 | （山形県立中央病院） |
| 0-163 | 転移性耳下腺癌（MPC）11症例の臨床像と診断、治療上の問題点 | 今野昭義 | （総合南東北病院） |
| 0-164 | 顎下腺転移をきたした肺腺扁平上皮癌の 1 例 | 福家智仁 | （伊勢赤十字病院） |
| 0-165 | 再発性耳下腺粘表皮癌に 9 回の手術を繰り返し 10 年生存を達成した 1 例 | 瀧端早紀 | （西埼玉中央病院） |

第 31 群 唾液腺癌 2

(16:00~16:40)

座長：山崎 知子（埼玉医科大学国際医療センター）成田 憲彦（福井県立病院）

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|----------|
| 0-166 | 穿刺吸引細胞診および針生検で悪性と診断できなかった耳下腺癌の臨床的検討 | 池田浩輔 | （千葉大学） |
| 0-167 | 舌下腺に発生した濾胞性リンパ腫の2例 | 田村祐紀 | （関西医科大学） |
| 0-168 | 当科における唾液腺癌の検討 | 瀧澤義徳 | （浜松医科大学） |
| 0-169 | 当院で経験した唾液腺分泌癌の7例 | 渡辺啓太 | （神戸大学） |

第 32 群 頭頸部

(16:40~17:50)

座長：蝦原 康宏（埼玉医科大学国際医療センター）横島 一彦（栃木県立がんセンター）

- | | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 0-170 | 石灰沈着性頸長筋腱炎症例の受診経緯に関する文献的検討 | 木村 寛 | （富山大学） |
| 0-171 | 経口的に瘻孔閉鎖術を施行した下咽頭梨状窩瘻の3例 | 川崎博人 | （関西医科大学） |
| 0-172 | 胸鎖乳突筋萎縮を契機として診断に至った Collet-Sicard 症候群の1例 | 内山裕貴 | （飯田市立病院） |
| 0-173 | 顎変形症術後の大量出血に対して当科が介入した1例 | 綿貫裕介 | （九州大学） |
| 0-174 | 頸部膿瘍として耳鼻科に搬送された巨大総頸動脈瘤の1例 | 加藤沙織 | （西埼玉中央病院） |
| 0-175 | 当院における頭頸部がん治療に対する院内連携の重要性 | 太田一郎 | （近畿大学奈良病院） |
| 0-176 | NDB オープンデータを用いた頭頸部がん専門医制度における必要手術項目の年次推移に関する検討 | 嘉味田朝太 | （名古屋市立大学） |

学術講演 3日目 5月30日(金)

第5会場 (4F G403)

第 33 群 メニエール病

(8:00~8:40)

座長：將積日出夫(富山大学) 青木 光広(大垣徳洲会病院)

- | | | | |
|-------|---|------|----------------------|
| 0-177 | 内耳造影 MRI にて球形嚢の形態異常を認めた症例の臨床的検討 | 横山侑哉 | (名古屋大学) |
| 0-178 | メニエール病の片頭痛合併有無および前庭性片頭痛との比較 | 乾 崇樹 | (大阪医科薬科大学) |
| 0-179 | 中耳加圧療法と内リンパ嚢手術を実施した症例の検討 | 隈上秀高 | (長崎原爆病院) |
| 0-180 | 非造影 MRI によるメニエール病の内リンパ水腫診断の進化〜ブロードバンド IR を用いて | 石井正則 | (JCHO 東京新宿メディカルセンター) |

第 34 群 聴覚検査

(8:40~9:40)

座長：山中 敏彰(近畿大学) 若杉 哲郎(産業医科大学)

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|------------|
| 0-181 | 当科で行った標準語音聴力検査と標準純音聴力検査の検討 | 百束 紘 | (横須賀共済病院) |
| 0-182 | 急性感音難聴患者と慢性両側性感音難聴患者における語音聴取能の比較 | 辺土名 貢 | (済生会宇都宮病院) |
| 0-183 | 地域住民17,287名における年代別平均聴力の検討 | 鈴木 淳 | (東北大学) |
| 0-184 | 雑音下語音明瞭度の加齢による影響 | 亀井昌代 | (岩手医科大学) |
| 0-185 | 自然災害時における聴覚障害者および家族の情報獲得・支援に対する需要調査 | 角木拓也 | (札幌医科大学) |
| 0-186 | 難聴が複合音のピッチ知覚に及ぼす影響 | 一宮一成 | (いちみや医院) |

第 35 群 感音難聴・耳鳴

(9:40~10:40)

座長：小林 一女(昭和医科大学) 河野 正充(和歌山県立医科大学)

- | | | | |
|-------|---|------|-------------|
| 0-187 | 耳鳴患者に対する疾病負荷および診療実態に関する定量的アンケート調査 | 神崎 晶 | (東京医療センター) |
| 0-188 | 唾液検査による突発性難聴とヘルペスウイルスの関連についての検討 | 江崎伸一 | (名古屋市立大学) |
| 0-189 | バイオバンク横断検索システムを利用した突発性難聴のゲノムワイド関連解析 | 鬼頭良輔 | (信州大学) |
| 0-190 | 当院で加療を行なった Grade 4 突発性難聴症例の検討 | 加藤 健 | (名古屋医療センター) |
| 0-191 | 突発性難聴として発症し、生体接着剤治療が奏功した外リンパ嚢疑い例の臨床経過 | 前田幸英 | (埼玉医科大学) |
| 0-192 | 感音性難聴症例へのステロイド投与後遺残症状に対する上咽頭擦過治療の効果について | 萩野仁志 | (はぎの耳鼻咽喉科) |

第 36 群 真珠腫性中耳炎 (13:00~14:00)

座長：高橋 邦行（宮崎大学）川島 慶之（東京科学大学）

- | | | | |
|-------|------------------------------|-------|--------------|
| 0-193 | 進展型の高齢者真珠腫性中耳炎手術 | 高田雄介 | （順天堂大学） |
| 0-194 | 軟組織再建における弛緩部型真珠腫の術後形態の検討 | 青木悠伍 | （いわき市医療センター） |
| 0-195 | 小児真珠腫の術後聴力成績の検討“成功例と非成功例の比較” | 西村理宇 | （兵庫医科大学） |
| 0-196 | 鼓室形成術Ⅳ型を施行した真珠腫症例 | 松田 帆 | （埼玉医科大学） |
| 0-197 | 真珠腫性中耳炎の術前音響耳管機能検査の検討 | 比嘉輝之 | （琉球大学） |
| 0-198 | 外視鏡を用いた中耳真珠腫手術症例の検討 | 小野寺大樹 | （岩手医科大学） |

第 37 群 難治性中耳炎 (14:00~15:00)

座長：飯野ゆき子（東京北医療センター）深美 悟（獨協医科大学）

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------|
| 0-199 | 好酸球性中耳炎の臨床像と生物学的製剤の有用性に関する比較検討 | 菊地さおり | （東京北医療センター） |
| 0-200 | 生物学製剤を使用した好酸球性中耳炎10例の検討—各種生物学的製剤により聴力、臨床像はどう変化したか— | 物部寛子 | （日本赤十字社医療センター） |
| 0-201 | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に伴う中耳炎の治療成績に関する検討 | 森田真也 | （北海道大学） |
| 0-202 | 異なる経過で高度難聴となった OMAAV の 2 例 | 十二町美樹 | （富山大学） |
| 0-203 | 当科で経験した ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV) で入院加療を行った一例 | 桂 秀典 | （熊本大学） |
| 0-204 | 診断に苦慮した難治性中耳炎症例 | 杉山さつき | （日本医科大学） |

第 38 群 耳・症例 (15:00~16:00)

座長：白馬 伸洋（帝京大学溝口病院）杉本 寿史（金沢大学）

- | | | | |
|-------|--|------|-------------|
| 0-205 | TEES による髄膜脳瘤症例の再手術所見 | 内田真哉 | （京都第二赤十字病院） |
| 0-206 | 孤立性ツチ骨骨折の 2 例 | 大田貴之 | （富山大学） |
| 0-207 | 神経再生誘導チューブによる鼓索神経再建中耳手術例 | 山中敏彰 | （近畿大学） |
| 0-208 | Candida auris 感染開放乳突腔障害を伴う好酸球性中耳炎例の聴覚管理：外耳道閉鎖術と Baha | 田中 佑 | （国際医療福祉大学） |
| 0-209 | 子宮体癌に対する化学療法後に内耳障害をきたした中耳炎例 | 藤森 栞 | （滋賀医科大学） |
| 0-210 | 内耳奇形に伴う反復性髄膜炎の診断に脳槽造影検査が有効であった 1 例 | 大鹿颯太 | （一宮市立市民病院） |

第6会場 (4F G404)

第 39 群 耳・腫瘍2

(8:00～8:40)

座長：伊藤 吏 (山形大学) 日高 浩史 (関西医科大学)

- | | | | |
|-------|--|------|----------|
| 0-211 | 外側側頭骨切除術における顎関節窩での耳管削開手術の工夫 | 堤 剛 | (東京科学大学) |
| 0-212 | 外耳道癌26例の症状・病悩期間と治療・予後に関する検討 | 友田篤志 | (関西医科大学) |
| 0-213 | 側頭骨内顔面神経鞘腫の治療指針の検討 | 大石直樹 | (慶應義塾大学) |
| 0-214 | 腫瘍摘出と同時に同側人工内耳植え込みを施行した聴神経腫瘍症例6例の聴覚予後の検討 | 山中歩美 | (慶應義塾大学) |

第 40 群 化学放射線治療

(8:40～9:40)

座長：金澤 丈治 (自治医科大学) 松塚 崇 (朝日大学)

- | | | | |
|-------|--|-------|----------|
| 0-215 | 下咽頭粘膜内の小唾液腺は放射線照射に影響されるか | 阪上智史 | (関西医科大学) |
| 0-216 | HPV-related multiphenotypic sinonasal carcinoma に対して CDDP 併用放射線療法で奏功した一例 | 浅野朋佳 | (横浜市立大学) |
| 0-217 | 維持透析中にシスプラチン併用放射線療法を施行した中咽頭癌症例 | 藤崎綾衣子 | (東京通信病院) |
| 0-218 | 喉頭原発髄外性形質細胞腫放射線治療後8年経過して多発性骨髄腫に移行した症例 | 楠 威志 | (順天堂大学) |
| 0-219 | 下咽頭癌に対する(化学)放射線治療後の甲状腺機能低下症 | 宮丸 悟 | (熊本大学) |
| 0-220 | 頭頸部癌に対するシスプラチン併用化学放射線治療における予防的制吐薬の有効性の検討 | 前角宙音 | (東京医科大学) |

第 41 群 頭頸部手術

(9:40～10:40)

座長：畠山 博充 (横浜市立大学市民総合医療センター) 寺田 友紀 (兵庫医科大学)

- | | | | |
|-------|--|------|----------------|
| 0-221 | 当科における頭頸部癌切除後の局所有茎皮弁再建症例の検討 | 松居祐樹 | (慶應義塾大学) |
| 0-222 | 中咽頭癌治療におけるロボット支援手術の役割と臨床的意義 | 瓜生英興 | (九州医療センター) |
| 0-223 | 当科における中咽頭癌に対する経口のロボット支援手術の有用性に関する検討 | 清水 顕 | (東京医科大学) |
| 0-224 | 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術における当科の試み | 堀 健志 | (山口大学) |
| 0-225 | 咽喉頭表在癌に対する鏡視下咽頭手術(ELPS、TOVS、TORS)を安全に導入するための取り組み | 渡部佳弘 | (国際医療福祉大学成田病院) |
| 0-226 | 咽頭表在癌に対する内視鏡的切除時ヨード色素内視鏡サーベイランスの有用性に関する多施設前向き研究 | 渡邊昭仁 | (恵佑会札幌病院) |

第 42 群 人工内耳 (13:00~14:00)

座長：柿木 章伸（高知大学）西山 信宏（東京医科大学）

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|----------------|
| 0-227 | 高齢人工内耳症例における語音聴取成績の検討 | 永友陽菜 | （宮崎大学） |
| 0-228 | 人工内耳装用者の臨床経過の把握をサポートする包括的なデータベースの開発 | 山崎博司 | （京都大学） |
| 0-229 | 人工内耳装用児の中耳炎罹患時の対応についての検討 | 吉村豪兼 | （信州大学） |
| 0-230 | 一側性高度難聴に対する人工内耳の現状と課題 | 岩崎 聡 | （国際医療福祉大学三田病院） |
| 0-231 | OTOPLAN を用いた FLEXsoft 人工内耳電極の検討 | 横井 純 | （神戸大学） |
| 0-232 | 就学児前児童に対する聾学校・病院間でのリモートマッピングの経験 | 桎尾明憲 | （東京大学） |

第 43 群 半規管・前庭 (14:00~15:00)

座長：岡田 智幸（聖マリアンナ医科大学）坪田 雅仁（金沢医科大学水見市民病院）

- | | | | |
|-------|---|------|---------------------|
| 0-233 | 特発性耳石器単独障害の臨床像 | 瀬尾 徹 | （聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院） |
| 0-234 | 前庭神経炎とラムゼイハント症候群の vHIT 検査を用いた半規管利得結果の比較検討 | 新井基洋 | （横浜市立みなと赤十字病院） |
| 0-235 | 前庭神経炎患者の眼振の性状について | 角田篤信 | （順天堂大学練馬病院） |
| 0-236 | 前庭性発作症 5 症例の臨床的検討 | 小川恭生 | （東京医科大学八王子医療センター） |
| 0-237 | 極めてまれな両側後半規管奇形の 1 例 | 釧持 新 | （共立蒲原総合病院） |
| 0-238 | ランダム化比較試験によるエプリー法でよい即時効果が得られる頭位維持時間の決定 | 今井貴夫 | （ベルランド総合病院） |

第 44 群 中耳手術 (15:00~16:00)

座長：我那覇 章（国際医療福祉大学成田病院）古川 正幸（順天堂大学浦安病院）

- | | | | |
|-------|---|-------|--------------------|
| 0-239 | 当科外来における鼓膜穿孔閉鎖治療 | 佐々木 亮 | （青森市民病院） |
| 0-240 | 小児慢性穿孔性中耳炎に対する治療方針について（当院10年間における変化） | 金沢弘美 | （自治医科大学さいたま医療センター） |
| 0-241 | 当科における内視鏡下 Butterfly Myringoplasty—グラフト作製法の工夫と長期治療成績— | 川島慶之 | （東京科学大学） |
| 0-242 | 緊張部限局型癒着性中耳炎における当院での耳小骨連鎖温存型鼓室形成術 | 藤川太郎 | （帝京大学溝口病院） |
| 0-243 | 中耳の硬化病態における術前オーディオグラム形状と固着部位の検討—骨導閾値に着目して— | 平林源希 | （東京慈恵会医科大学） |
| 0-244 | レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）をもとにした耳科手術件数の推移に関する検討 | 假谷 伸 | （川崎医科大学） |

第7会場 (3F G316+G317)

第 45 群 口腔咽頭

(8:00~9:00)

座長：上前泊 功（筑波大学）小野 剛治（久留米大学）

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|--------------|
| 0-245 | 口腔癌における浸潤増殖様式の臨床病理学的検討 | 岸川敏博 | （大阪国際がんセンター） |
| 0-246 | 口腔扁平上皮癌細胞の上皮間葉移行（EMT）を誘導する予後不良因子の同定 | 渡邊 愛 | （東京科学大学） |
| 0-247 | 舌に発生した胞巣状軟部肉腫の1例 | 佐藤方宣 | （九州大学） |
| 0-248 | 口腔咽頭に発生した verrucous carcinoma の3例 | 中村匡孝 | （兵庫医科大学） |
| 0-249 | 当科における光免疫療法の現状と舌根部腫瘍に対する有効な照射方法の探索 | 柴田博史 | （岐阜大学） |
| 0-250 | 糖尿病を合併した咽喉頭癌症例の検討 | 田浦政彦 | （浜の町病院） |

第 46 群 感染症1

(13:00~14:10)

座長：上村 裕和（奈良県立医科大学）飯田 誠（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター）

- | | | | |
|-------|---|-------|---------------|
| 0-251 | 鼻咽腔処置（Bスポット治療）を行った COVID-19 罹患後症状を有す症例の経過について—第4報— | 杉浦むつみ | （久我クリニック） |
| 0-252 | COVID-19 における扁桃細菌感染症の併発について | 國本 優 | （広島大学） |
| 0-253 | Hypervirulent <i>Klebsiella pneumoniae</i> によって引き起こされた扁桃周囲膿瘍の1例 | 溝端和哉 | （和歌山県立医科大学） |
| 0-254 | 咽頭痛で発症、喀血し呼吸停止の経過を辿った壊死性軟部組織感染症の1例 | 武 哲平 | （堺市立総合医療センター） |
| 0-255 | <i>Bacteroides pyogenes</i> による難治経過を辿った頸部膿瘍例 | 井島貴宏 | （小田原市立病院） |
| 0-256 | 当院で経験したレミエール症候群の一例 | 吉村典紘 | （市立豊中病院） |
| 0-257 | 経頸部ドレナージを施行した傍気管嚢胞感染例 | 名倉巧真 | （刈谷豊田総合病院） |

第 47 群 小児感染症

(14:10~14:50)

座長：加瀬 康弘（埼玉医科大学）丸山裕美子（黒部市民病院）

- | | | | |
|-------|---|-------|---------------------|
| 0-258 | 本邦において小児急性中耳炎の原因となったインフルエンザ菌の薬剤耐性に関する遺伝学的検討 | 角田梨紗子 | （東北大学） |
| 0-259 | 当科における小児扁桃周囲膿瘍症例の検討 | 小山知慶 | （公立陶生病院） |
| 0-260 | 当院における小児深頸部膿瘍の検討 | 門園 修 | （東京女子医科大学八千代医療センター） |
| 0-261 | 多発脳神経障害を呈した播種性帯状疱疹の13歳男児例 | 横山侑輔 | （新潟県立新発田病院） |

第 48 群 嗅覚

(14:50～16:00)

座長：志賀 英明（金沢医科大学） 青井 典明（島根大学）

- | | | | |
|-------|--|------|----------|
| 0-262 | 嗅覚障害がワークパフォーマンスへ与える影響
—大規模インターネット調査による横断研究 | 小林祐太 | （東北大学） |
| 0-263 | 嗅覚障害の自覚的低下度と基準嗅力検査結果の乖離
の検討 | 竹市憲人 | （三重大学） |
| 0-264 | 嗅覚検査の重要性を再認識した自覚症状と嗅力の乖
離症例 | 柴田美雅 | （産業医科大学） |
| 0-265 | COVID-19 による嗅覚障害と感冒後嗅覚障害の比較
検討 | 荒井秀寿 | （山梨大学） |
| 0-266 | 新型コロナウイルス感染症後嗅覚障害と感冒後嗅覚
障害との比較検討 嗅裂病変を中心に 多施設共同
研究 | 三輪高喜 | （金沢医科大学） |
| 0-267 | 小児嗅覚障害例の臨床検討 | 春名威範 | （兵庫医科大学） |
| 0-268 | 慢性鼻副鼻腔炎における嗅上皮生検が嗅覚機能へ与
える影響 | 柏木隆志 | （獨協医科大学） |

第8会場 (3F G318+G319)

第 49 群 アレルギー性鼻炎・IgG4 (9:50~10:40)

座長：武田 和也 (大阪大学) 飯沼 智久 (千葉大学)

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|------|----------------|
| 0-269 | 鼻洗浄が鼻腔・上咽頭・口腔の細菌叢動態に及ぼす影響 | 木村翔一 | (福岡歯科大学) |
| 0-270 | 内視鏡下鼻内涙嚢鼻腔吻合術後のチューブ留置が涙嚢内菌叢に与える影響 | 鈴木佳奈 | (日本大学) |
| 0-271 | 難治性のネコアレルギーに対して環境整備と薬物療法が奏功した鼻炎症例 | 高野峻輔 | (国際医療福祉大学成田病院) |
| 0-272 | IgG4 関連疾患と嗅覚障害 | 近藤 悟 | (金沢大学) |
| 0-273 | IgG4 関連疾患に合併する慢性鼻副鼻腔炎の臨床的特徴 | 亀倉隆太 | (札幌医科大学) |

第 50 群 感染症2 (13:00~14:00)

座長：余田 敬子 (東京女子医科大学足立医療センター) 片田 彰博 (旭川赤十字病院)

- | | | | |
|-------|--|-------|-------------|
| 0-274 | レボフロキサシン耳科溶液のキノロン耐性緑膿菌および MRSA に対する細菌学的効果の検証 | 矢野寿一 | (奈良県立医科大学) |
| 0-275 | Lascufloxacin (LSFX) の耐性菌変異株選択域の評価 | 河野正充 | (和歌山県立医科大学) |
| 0-276 | 非結核性抗酸性中耳炎・副鼻腔炎症例 | 鈴木冨実 | (東京北医療センター) |
| 0-277 | フィリピン人成人男性の非定型手足口病の一例 | 野村拓未 | (長岡赤十字病院) |
| 0-278 | 最近11年間に当科で検出されたA群溶血性レンサ球菌の臨床的特徴と薬剤感受性の動向調査 | 白根しおん | (東北大学) |
| 0-279 | 咽頭放線菌症に合併した悪性リンパ腫症例 | 今戸舜介 | (香川労災病院) |

第 51 群 鼻副鼻腔基礎 (14:00~14:50)

座長：石野 岳志 (広島大学) 端山 昌樹 (兵庫県立西宮病院)

- | | | | |
|-------|---|-------|-------------|
| 0-280 | 経皮感作・経鼻暴露による鼻・副鼻腔炎症性疾患の発症について：経鼻感作・経鼻暴露との比較 | 永野広海 | (鹿児島大学) |
| 0-281 | 上気道感染症に対する感覚受容体を介した免疫制御 | 保富宗城 | (和歌山県立医科大学) |
| 0-282 | 難治性上気道組織の P2X3 受容体発現レベル定量の試み | 安宅賢二郎 | (秋田大学) |
| 0-283 | 上気道局所におけるアレルギーコンポーネント Alt a 1 レベルと再発予測 | 浅野李湖 | (秋田大学) |
| 0-284 | 白血球免疫グロブリン様受容体Bの発現低下と好酸球性副鼻腔炎の病態形成への影響 | 野内雄介 | (山形大学) |

第 52 群 鼻副鼻腔バイオ

(14:50~16:00)

座長：中丸 裕爾（北海道大学）萩野枝里子（おぎのクリニック京都駅前）

- | | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 0-285 | 実臨床における日本人の鼻茸を伴う慢性鼻副鼻腔炎患者における24カ月間のデュピルマブの有効性 | 高林哲司 | （福井大学） |
| 0-286 | デュピルマブを中断した好酸球性副鼻腔炎症例の検討 | 出島健司 | （京都田辺中央病院） |
| 0-287 | Dupilumab の投与は鼻副鼻腔粘膜上皮細胞の遺伝子発現を正常化させるか？ | 常見泰弘 | （獨協医科大学） |
| 0-288 | 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎に対するメボリズマブの短中期的な治療効果の検討 | 中森基貴 | （鳥取大学） |
| 0-289 | テゼベルマブが著効したアスピリン不耐症 ECRS 症例 | 生駒 亮 | （横浜南共済病院） |
| 0-290 | 当院における2024年花粉症シーズンにおけるオマリズマブの使用経験 | 安達一雄 | （あだち耳鼻咽喉科） |
| 0-291 | Omalizumab による重症花粉症の治療効果 | 福岩可維斗 | （昭和医科大学） |

第9会場 (4F G414+G415)

第 53 群 テクノロジー

(13:00~14:10)

座長：渡邊 莊 (国立国府台医療センター) 岡田 隆平 (東京科学大学)

- | | | | |
|-------|---|-------|-------------------------|
| 0-292 | ORBEYEを用いた耳鼻咽喉科小手術—耳瘻管摘出術— | 芹澤美香 | (総合病院国保旭中央病院) |
| 0-293 | 鼻中隔手術3型における外視鏡 (ORBEYE) の有用性について | 由井亮輔 | (東京慈恵会医科大学) |
| 0-294 | 鼻腔内視鏡 AI 診断支援システムの開発 (第一報) | 平野康次郎 | (昭和医科大学) |
| 0-295 | 手術動画を用いた真珠腫遺残の有無の AI 判別 | 宮澤 渉 | (佐久総合医療センター) |
| 0-296 | 補聴器に活用するレディメイドイヤモールドの開発 | 柘植勇人 | (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院) |
| 0-297 | 耳鼻咽喉科領域のオンライン医療相談における医師と大規模言語モデル駆動型チャットボットの回答比較 | 茂木雅臣 | (群馬大学) |
| 0-298 | AI アバターによる医療の未来 (LLM を利用した外来診療、フィラーなき SOAP 入力) | 加納 滋 | (加納耳鼻咽喉科医院) |

第 54 群 鼻副鼻腔症例

(14:10~15:20)

座長：松原 篤 (弘前大学) 秋山 貢佐 (高松赤十字病院)

- | | | | |
|-------|---|-------|--------------------|
| 0-299 | 鼻腔検体採取が原因と考えられた髄液鼻漏の一例 | 塩野 理 | (横浜市立市民病院) |
| 0-300 | 難治性前頭洞炎に対し Draf 3 による前頭洞解放および有茎粘膜弁による頭蓋底骨露出面被覆を実施した一例 | 大倉圭貴 | (総合病院国保旭中央病院) |
| 0-301 | 内視鏡下涙嚢鼻腔吻合術において鼻腔側壁粘膜弁を挙上することで、十分な術野確保と再狭窄予防を施した一例 | 仲村真愛美 | (総合病院国保旭中央病院) |
| 0-302 | 副鼻腔炎に起因する眼窩内膿瘍を発症した4症例の検討 | 廣瀬智紀 | (兵庫医科大学) |
| 0-303 | 歯性上顎洞炎に対する内視鏡下経鼻的歯根端切除の試み | 福井健太 | (横浜市立大学市民総合医療センター) |
| 0-304 | 当院で経験した副鼻腔血瘤腫7例の臨床的検討 | 長谷川雅俊 | (名古屋大学) |
| 0-305 | 鼻腔底に限局する軟骨粘液線維腫に対し、口蓋骨合併切除後、鼻腔粘膜・大腿筋膜・硬口蓋粘膜で再建した1例 | 福岩廉人 | (東京慈恵会医科大学) |

第10会場 (2F G215)

第 55 群 上咽頭

(8:00～8:50)

座長：林 達哉（旭川医科大学）杉本 太郎（東京都立駒込病院）

- | | | | |
|-------|---|-------|------------------------|
| 0-306 | 上咽頭に発生した Lymphoepithelial Carcinoma の例 | 竹川莉菜子 | （福井赤十字病院） |
| 0-307 | 当科における上咽頭癌に対する放射線治療の成績と
晩期合併症についての検討 | 田村浩一 | （大阪国際がんセンター） |
| 0-308 | 扁平上皮癌と神経内分泌癌が混在した上咽頭癌の一
例 | 関 正大 | （久留米大学） |
| 0-309 | EAT（上咽頭擦過療法）単独で軽快した他症状のな
い頸部リンパ節腫脹の 24 例 | 鬼塚哲郎 | （三島中央病院） |
| 0-310 | 上咽頭癌放射線治療後残存に対するホウ素中性子捕
捉療法（BNCT）施行 1 年後に再燃した粘膜炎の 1
例 | 近藤律男 | （がん・感染症センター都
立駒込病院） |

第 56 群 将来展望

(8:50～9:40)

座長：坂田 俊文（福岡大学）太田 一郎（近畿大学奈良病院）

- | | | | |
|-------|---|------|------------|
| 0-311 | ワーク・ライフ・インテグレーションを実現する次
世代医療人支援の取り組み | 立山香織 | （大分大学） |
| 0-312 | 耳鼻咽喉科専門研修プログラムに関するアンケート
調査の検討 | 山田啓之 | （愛媛大学） |
| 0-313 | 演題取り下げ | | |
| 0-314 | 地方の非常勤施設における AC ジャパンの難聴啓発
CM の認知度と受診動向 | 室野重之 | （福島県立医科大学） |
| 0-315 | カンボジアにおける耳鼻咽喉科学校検診の検討 | 松山敏之 | （群馬大学） |

第 57 群 喉頭気管 3

(9:40～10:50)

座長：渡邊 雄介（国際医療福祉大学東京ボイスセンター）春日井 滋（聖マリアンナ医科大学）

- | | | | |
|-------|--|------|--------------------------|
| 0-316 | 音声科学の発展を阻んできた声区分類の混乱 歴史
的な観点からの頭声、胸声という概念について | 齊田晴仁 | （さいだ耳鼻咽喉科気管食
道科クリニック） |
| 0-317 | 当院における甲状腺葉峡部切除症例に対する音声評
価の検討 | 青木一真 | （四国がんセンター） |
| 0-318 | 片側性声帯麻痺患者における喉頭枠組み手術の統計
学的解析（音声機能と下気道に対する影響） | 松山浩太 | （自治医科大学） |
| 0-319 | 粗ざう性嗄声のための多変量音響モデル Acoustic
Roughness Index の開発 | 北山一樹 | （大阪大学） |
| 0-320 | 喉頭肉芽腫における血管および組織修復因子の発現 | 舘田 豊 | （東北医科薬科大学） |
| 0-321 | 気道熱傷後の喉頭気管狭窄に対する新規治療法の開
発研究 | 坪井秀之 | （防衛医科大学校） |
| 0-322 | 神経変性疾患における喉頭所見と音声障害～パーキ
ンソン病と進行性核上性麻痺の比較 | 伊藤陽子 | （東名古屋病院） |

第 58 群 嚥下2

(13:00~13:40)

座長：梅崎 俊郎（福岡山王病院）田山 二郎（田山・皿井耳鼻咽喉科・ボイスクリニック）

- | | | | |
|-------|---------------------------------------|------|---------|
| 0-323 | 頭頸部癌放射線治療前後における頸部硬度と嚥下機能の検証 | 大野純希 | （長崎大学） |
| 0-324 | ALS 患者への改良型喉頭中央部切除術による経口摂取状況と咽頭収縮への効果 | 上羽瑠美 | （東京大学） |
| 0-325 | マウスにおける周波数特性を利用した舌骨上筋群電気刺激効果の検討 | 石田知也 | （佐賀大学） |
| 0-326 | 内視鏡下輪状咽頭筋切断術における輪状咽頭隆起の解剖学的特徴 | 千年俊一 | （久留米大学） |

第 59 群 スポーツ

(13:40~14:50)

座長：福田裕次郎（川崎医科大学）桑添 博紀（紀南病院）

- | | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|-------------|
| 0-327 | スキンドайビング（すもぐり）後に耳症状を生じたダイバー患者の検討 | 北島尚治 | （北島耳鼻咽喉科医院） |
| 0-328 | シュノーケルを用いた競泳練習により再発した運動誘発性喉頭閉塞症の症例 | 大谷真喜子 | （和歌山県立医科大学） |
| 0-329 | 富士山頂における睡眠時無呼吸症候群と急性高山病について | 井出里香 | （東京都立大塚病院） |
| 0-330 | ICSD 公式オーデオグラムの書き方—東京2025デフリンピックに向けて | 藤森里香子 | （目黒耳鼻咽喉科医院） |
| 0-331 | デフリンピックの現状 —デフリンピック競技大会へ出場した経験を通じて— | 吉田 翔 | （長崎原爆病院） |
| 0-332 | アスリートの呼吸機能に付いて—6 呼吸機能の効率、酸素摂取と進化 その4 | 吉田泰行 | （栗山中央病院） |
| 0-333 | 剣道における聴力障害頻度と障害要因の検討—大学生における変化 | 伊藤 伸 | （順天堂大学浦安病院） |

第 60 群 多職種連携

(14:50~16:00)

座長：太田 康（東邦大学医療センター佐倉病院）鬼頭 良輔（信州大学）

- | | | | |
|-------|--|-------|------------------|
| 0-334 | 歯科開業医向けのダイレクトな相談窓口の設立と相談内容から見える耳鼻科医の役割の重要性 | 安齋 崇 | （順天堂大学） |
| 0-335 | 耳鼻咽喉科一診療所におけるインバウンド患者の受診状況 | 石丸 正 | （ひょうたん町耳鼻咽喉科医院） |
| 0-336 | 地域市中病院への耳鼻咽喉科頭頸部外科医師常勤化がもたらす影響 | 平岡晃太 | （国東市民病院） |
| 0-337 | 心理社会的因子の関与する耳鼻咽喉科疾患に対する公認心理師の活用についての検討 | 金谷浩一郎 | （耳鼻咽喉科かめやまクリニック） |
| 0-338 | 高齢者施設入所者に対する耳鼻咽喉科の役割 | 山野貴史 | （福岡歯科大学） |
| 0-339 | 当院における耳鼻咽喉科リハビリテーションの取り組み | 高橋真理子 | （名古屋市立大学みらい光生病院） |
| 0-340 | 教育委員会と病院との連携について | 寺崎雅子 | （小田原市立病院） |

第11会場 (2F G216)

第 61 群 遺伝性難聴 1

(8:00~8:40)

座長：内藤 泰（耳鼻咽喉科内藤クリニック） 内田 育恵（愛知医科大学）

- | | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 0-341 | ACTG1 遺伝子病的バリエーションが同定された難聴家系の臨床像の検討 | 宮之原郁代 | （鹿児島大学） |
| 0-342 | MT-TS1 難聴の Auditory Neuropathy および関連する病態と診療 | 松永達雄 | （東京医療センター） |
| 0-343 | 当科で判明した顕性遺伝形式をとる遺伝性難聴症例 | 西山信宏 | （東京医科大学） |
| 0-344 | ロングリードシーケンスによる USH2A 遺伝子のゲノム構造異常解析 | 茂木英明 | （相澤病院） |

第 62 群 遺伝性難聴 2

(8:40~9:20)

座長：松永 達雄（東京医療センター） 中西 啓（浜松医科大学）

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------------|
| 0-345 | 当院および地域中核総合病院における難聴遺伝カウンセリングの連携 | 片岡祐子 | （岡山大学） |
| 0-346 | 5年間経過を追えた OTOGL 遺伝子バリエーションによる先天性軽中等度感音難聴症例 | 石川浩太郎 | （国立障害者リハビリテーションセンター） |
| 0-347 | 常染色体優性非症候性難聴の TMC1 遺伝子病的バリエーションが同定された兄弟例 | 藤田陸登 | （広島大学） |
| 0-348 | 当科における複数バリエーションが同定された遺伝性難聴症例の検討 | 荒井康裕 | （横浜市立大学） |

第 63 群 小児難聴 1

(9:20~10:00)

座長：石川浩太郎（国立障害者リハビリテーションセンター） 片岡 祐子（岡山大学）

- | | | | |
|-------|--|-------|----------------|
| 0-349 | 三重県における新生児・小児聴覚検査情報データベースシステム | 増田佐和子 | （三重病院） |
| 0-350 | 新生児聴覚スクリーニング refer 例のワイドバンドティンパノメトリーによる聴力予後評価の有用性の検討 | 三浦直一 | （NHO 岩国医療センター） |
| 0-351 | 聴力精査目的に当科を受診した0歳児症例の検討 | 有本友季子 | （千葉県こども病院） |
| 0-352 | 大阪府における NHS 要精査児に対する先天性 CMV の精査状況について | 岡崎鈴代 | （大阪府耳鼻咽喉科医会） |

第 64 群 小児難聴 2

(10:00~10:40)

座長：仲野 敦子（千葉県こども病院） 本藏 陽平（東北大学）

- | | | | |
|-------|-------------------------------|-------|------------|
| 0-353 | 宮城県における3歳児健診の現況 | 河田 怜 | （東北大学） |
| 0-354 | 当院で施行した ASSR 閾値と純音聴力検査閾値の比較検討 | 金城伸祐 | （岩手医科大学） |
| 0-355 | 視覚強化聴力検査（VRA）を用いた左右別小児聴覚検査 | 野田哲平 | （九州大学） |
| 0-356 | 就学時健診を契機に診断された難聴児の検討 | 外池百合恵 | （千葉県こども病院） |

第 65 群 耳管

(13:00~13:40)

座長：原田 竜彦（国際医療福祉大学熱海病院） 佐藤 崇（大阪大学）

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|-----------------|
| 0-357 | 耳管開放症未成年者の特徴 | 大島猛史 | （日本大学） |
| 0-358 | 耳管開放症「疑い例」の臨床像 | 吉田まりん | （日本大学） |
| 0-359 | 未成年者に対する耳管ピン手術の経験 | 新藤秀史 | （日本大学医学部附属板橋病院） |
| 0-360 | 耳管ピン挿入困難例への対応 | 荒井真木 | （浜松医療センター） |

第 66 群 難聴医療啓発

(13:40~14:50)

座長：稲垣 太郎（東京医科大学） 細谷 誠（慶應義塾大学）

- | | | | |
|-------|---|------|-----------------|
| 0-361 | 新潟プロジェクト（第3報） | 大滝 一 | （大滝耳鼻科クリニック） |
| 0-362 | 認定補聴器技能者との効率的な連携に向けたアンケート調査 | 中村高志 | （京都府立医科大学） |
| 0-363 | 補聴器装用による認知機能および QOL への影響—第2報— | 八木千裕 | （新潟大学） |
| 0-364 | 中等度難聴における補聴器の認知機能低下抑制効果について—語音明瞭度の観点から— | 岸保鉄也 | （一般社団法人西東京市医師会） |
| 0-365 | 難聴対策奈良モデルについて | 西村忠己 | （奈良県立医科大学） |
| 0-366 | 難聴者の精神的社会的影響に対する補聴器だけに依存しない ACE プログラムについて | 稲木利英 | （東海大学） |
| 0-367 | 高齢者における TEES の有用性と限界 | 鈴木雄大 | （山形大学） |

第 67 群 頭頸部癌

(14:50~16:00)

座長：小川 徹也（愛知医科大学） 清水 顕（東京医科大学）

- | | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|-----------------|
| 0-368 | 救済頸部郭清時における臨床病理学的な生存解析 | 鈴木秀典 | （愛知県がんセンター） |
| 0-369 | 喉頭蓋谷嚢胞の外見を呈し診断に苦慮した声門上腺癌の一例 | 山形勇貴 | （新潟大学） |
| 0-370 | 当科で手術を行った眼瞼脂腺癌頸部転移症例の検討 | 永尾 光 | （京都府立医科大学） |
| 0-371 | 外耳道癌に対する BNCT の短期治療成績 | 粟飯原輝人 | （大阪医科大学） |
| 0-372 | 当科における頭頸部扁平上皮癌および唾液腺癌の HRAS 遺伝子変異の検討 | 大嶋秀美 | （金沢大学） |
| 0-373 | 切除可能固形がんにおける MRD 検査の現状と展望—頭頸部癌について— | 秋定直樹 | （国立がん研究センター東病院） |
| 0-374 | 頭頸部癌治療後の QOS（Quality of survival）調査 | 野原優奈 | （九州大学） |

XVIII ポスター

ポスター自由討論 1日目 5月28日(水): 奇数演題番号

ポスター自由討論 2日目 5月29日(木): 偶数演題番号

ポスター会場 (G1-G4)

(16:00~17:00)

P-01	突発性難聴 Grade4: 508例の治療成績と予後因子 (cVEMP、oVEMP) について	河野敏朗	(西横浜国際総合病院)
P-02	無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症児の聴覚フォローアップと課題	木村優介	(日本大学)
P-03	聴覚障害 6 級に該当する難聴が高校卒業後に発見された 2 例	内田育恵	(愛知医科大学)
P-04	ニコチンアミドモノスクレオチドの高脂肪食投与マウスに対する内耳保護の検討	津田潤子	(山口大学)
P-05	Lyl1 過剰発現マウス蝸牛の血管構造と低酸素応答についての検討	田浦晶子	(藍野大学)
P-06	雑音下語音聴力を指標としたアプリケーションソフトの開発	佐藤剛史	(東北大学)
P-07	カルシウムイメージングを用いた遺伝子改変ゼブラフィッシュの表現型についての検討	西村省吾	(山口大学)
P-08	閉経後骨粗鬆症モデルマウスへのスタチン局所投与による前庭機能および耳石変化の検討	吉川弥生	(東京通信病院)
P-09	難治性慢性めまい患者に対する感覚代行刺激を用いた平衡訓練効果と脳機能的結合に及ぼす変化の検討	高倉大匡	(富山大学)
P-10	弾性軟骨と硝子軟骨における軟骨膜細胞の増殖様式の比較解析	赤崎詠子	(久留米大学)
P-11	iPhone に内蔵のモーションセンサーを利用した Windows 眼振・頭位記録システム	黒田建彰	(黒田耳鼻咽喉科医院)
P-12	断酒後長期経過観察中のアルコール性小脳失調症例	大野智樹	(東邦大学)
P-13	中耳真珠腫手術における再生軟骨を用いた外耳道後壁再建	安井拓也	(帝京大学)
P-14	リティンパ®を用いた鼓膜再生療法の有効性に関する検討	桑澤 徹	(東京医科大学八王子医療センター)
P-15	TEES による内耳窓閉鎖術を行った外リンパ瘻症例の検討	竹元尊徳	(いまきいれ総合病院)
P-16	鼓室型グロムス腫瘍の一例	杉浦 舞	(名古屋大学)
P-17	重篤な経過を辿った頭蓋底骨髄炎の 2 症例	阿彦玲児	(帝京大学)
P-18	透析患者の頭蓋底骨髄炎を寛解まで治療し得た一例	中阿地啓悟	(日本医科大学武蔵小杉病院)
P-19	耳科手術後に遅発性顔面神経麻痺をきたした症例について	川島 啓	(日本医科大学)
P-20	市販耳スコープを用いた就学前検診の有効性	上出洋介	(かみで耳鼻咽喉科クリニック)

P-21	COVID-19 後嗅覚障害における嗅神経輸送の画像解析	志賀英明	(金沢医科大学)
P-22	RAMPA 療法による鼻副鼻腔の容積変化	竹國貴美江	(こどもと女性の歯科クリニック)
P-23	カラスポンジを用いた鼻科手術用パッキング材の開発と使用経験	谷口賢新	(国立国際医療研究センター病院)
P-24	甲状腺視神経症に対する眼窩減圧術施行例の臨床的検討	武田和也	(大阪大学)
P-25	鼻出血症に対する全身麻酔下の止血術に関する検討	三ッ井瑞季	(福島県立医科大学)
P-26	鼻腔異物に伴う鼻腔放線菌症の 1 例	樋口仁美	(樋口病院)
P-27	口唇口蓋裂に対する外鼻修正術後に鼻涙管閉塞を来した 1 例	木島由葵	(昭和医科大学)
P-28	単房性嚢胞型を呈した蝶形骨洞線維性骨異形成症の 1 例	千葉真人	(山形大学)
P-29	鼻中隔腫脹を呈した脊索腫の 1 例	田中航太	(旭川医科大学)
P-30	再発性鼻腔内反性乳頭腫に対して、ヨクイニンエキスが著効した 1 例	前田恭世	(東京女子医科大学八千代医療センター)
P-31	手術により改善を得たキアリ奇形 I 型による小児の中枢性睡眠時無呼吸症候群の 1 例	山本陽平	(山口大学)
P-32	当科における下咽頭梨状窩瘻症例に対する経口的梨状窩瘻閉鎖術の検討	太田 淳	(東北大学)
P-33	口蓋扁桃摘出術における術後出血の検討	川本真綾	(近畿大学)
P-34	摘出口蓋扁桃標本にて IgG4 関連疾患の診断となった喉頭浮腫症例	塚田弥生	(黒部市民病院)
P-35	甲状腺穿刺吸引細胞診後の急性一過性甲状腺腫脹の 2 例	丸山裕美子	(黒部市民病院)
P-36	びまん性大細胞 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) を併発した耳下腺 Warthin 腫瘍の 1 症例	立本征士	(京都中部総合医療センター)
P-37	耳下腺良性腫瘍手術後に遅発性に顔面神経麻痺をきたした 1 例	久場潔実	(上尾中央総合病院)
P-38	甲状腺疾患を有する患者に対して気道確保を要した症例の検討	松本宗一	(高知大学)
P-39	当科における中咽頭癌症例の検討	五十嵐丈之	(自治医科大学)
P-40	口腔・中咽頭上皮内癌の検討	竹林慎治	(滋賀県立総合病院)
P-41	右側の Zenker 憩室内に生じた下咽頭癌例	伊藤広明	(高知大学)
P-42	当科で施行した甲状腺癌に対するオンコマイン DxTT 検査症例の解析	若崎高裕	(近畿大学)
P-43	喉頭摘出後の代用音声に関する検討	篠田裕一郎	(兵庫医科大学)
P-44	当院の重症心身障害児者に対する誤嚥防止手術の検討	須藤 敏	(沖縄県立中部病院)
P-45	マイコプラズマ感染により偽膜性喉頭炎を発症した 1 例	徳重豪士	(鹿児島医療センター)
P-46	全身麻酔下幽門側胃切除術後に発症した Tapia 症候群の 1 例	上栗千典	(岐阜県立多治見病院)
P-47	perifascial areolar tissue (PAT) による閉鎖を行った挿管性気管食道瘻の 1 例	深堀光緒子	(飯塚病院)

P-48	化膿性胸鎖関節炎から頸部縦郭膿瘍を生じた一例	二階堂靖訓	(東広島医療センター)
P-49	初診時に QFT、結核菌 PCR いずれも陰性で診断に難渋したリンパ節結核の一例	中島賢一郎	(松江赤十字病院)
P-50	インターネットと動画サイトにおける舌癌の情報発信	柴田彩加	(大阪医科薬科大学)
P-51	茎状突起による stylo-carotid artery syndrome により内頸動脈解離を来し、脳梗塞を発症した2例	吉見亘弘	(焼津市立総合病院)
P-52	内頸静脈血栓を契機に診断された抗リン脂質抗体症候群例	田中義人	(小田原市立病院)
P-53	陸上競技用による頸部杓創	小池吉彦	(岩手医科大学)